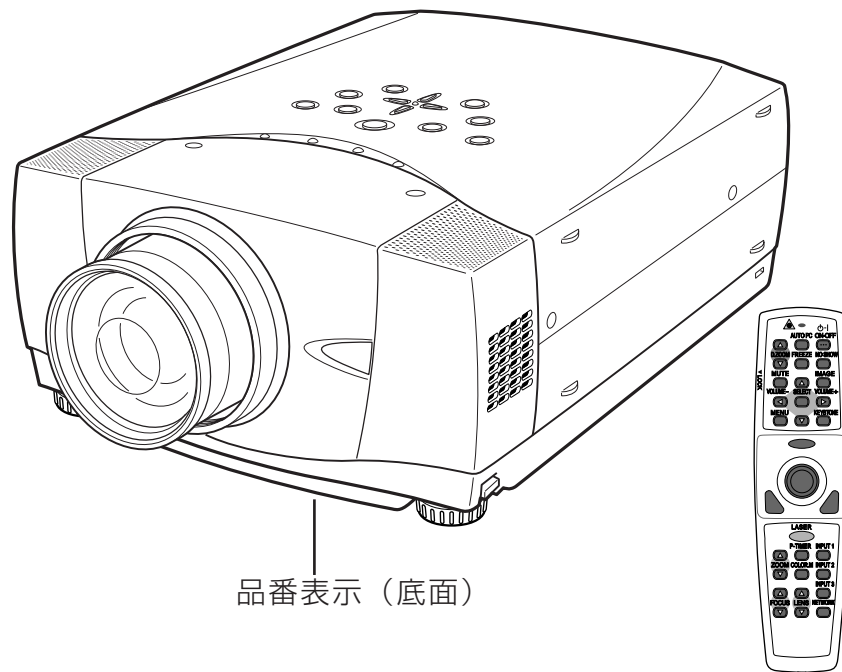


液晶プロジェクター 品番 LP-XP56 取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使い下さい。とくに4～9ページの「安全
上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつ
でも取り出せるところに必ず保管してください。わ
からないことがあったときなどにお役に立ちます。
お買い上げ商品の品番は底面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください



品番表示 (底面)

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の () 内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

LP-XP56 の特長

1024 x 768 ドットの高解像度液晶パネルの採用により、XGAコンピュータにリアル対応、SXGAにも圧縮対応

ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン付き

- プロジェクターおよび接続したコンピュータの両方の操作ができ、さらにプレゼンテーション時に便利なレーザーポインタ機能が付いたワイヤレスリモコンを付属。

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

- コンピュータの種類を判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャン システム」と「オートPCアジャスト」機能。
- 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投映できる「デジタルズーム」機能。(コンピュータモード時)
- 投映画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタルキーストーン (台形補正)」機能。上下と左右の補正により設置範囲が拡大。
- 音声を一時的に消す「MUTE」機能・画面を一時的に消す「NO SHOW」機能・画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER (プレゼンテーション タイマー)」機能。
- アンプ・スピーカー内蔵で音響施設のない出先等でもプレゼンテーションが可能。

海外の映像システムにも対応する 6 カラーシステム

- NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N カラーシステムに対応。

コンポーネント 映像入力端子を装備

- DVDやHDTVなどを高画質で再生。

DVI-D (デジタル ビジュアル インターフェイス) 搭載

- デジタル ビジュアル インターフェイス (DVI) の採用により、コンピュータの画像をより鮮明に再生します。

プログレッシブ スキャン

- プログレッシブ スキャン の採用により、ビデオ映像やHDTV信号をより高画質に投映します。

レンズの交換が可能

- 別売オプションレンズとの交換により、ご使用場所に合わせた投映が可能。

電動レンズシフト機能搭載

- ボタン操作でレンズを上下にスライドさせ、画面の位置決めを容易にします。

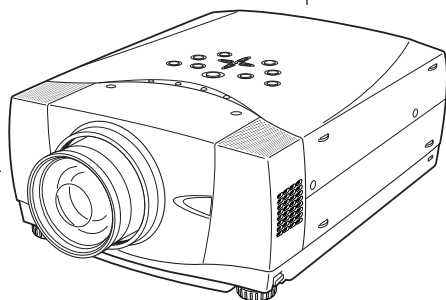
天吊り、据置、リア投映など、さまざまな設置方法に対応

ファン動作音が気にならない静音と省電力を実現する「エコモード」を搭載。

別売のPJ-Net Organizer (PJ ネット・オーガナイザー) を装着することによりプロジェクターをネットワーク経由で操作・管理することが可能。

満足の明るさと高精細大画面

- 約236万画素の高精細映像でXGAコンピュータ画面をリアル投映。
- 300W NSHランプの採用により、高輝度化を実現。
- 31~400型の大画面。



充実のコンピュータ/ビデオ入力端子

- コンピュータ入力に、DVI-D端子 (デジタル) およびD-sub端子 (アナログ) を装備。
- ビデオ入力端子には、コンポーネント映像、S映像、コンポジット映像を装備。
- その他に、USB端子、コントロールポート端子、音声入出力端子を装備。



設置調整を容易にする機構設計

- 画像位置の調整を容易にする上下電動レンズシフト機能を搭載
- 持ち運びに便利なキャリングハンドルと傾き調整を容易にする調整脚を装備


ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン

- プロジェクターおよびプロジェクターに接続したコンピュータの遠隔操作が可能
- プロジェクターに接続したコンピュータのマウス操作が可能。
- プレゼンテーション時に便利なレーザーポインタ機能とP-TIMER (プレゼンテーションタイマー) 機能。

目次

安全上のご注意 -----	4	コンピュータ入力 -----	32
はじめに -----	10	コンピュータ入力に切り換える	32
付属品を確認してください	10	コンピュータシステムの選択	33
準備 -----	11	コンピュータシステムの調整	34
本体各部のなまえ	11	イメージモードの選択	37
設置のしかた	12	適切な画像サイズに調整する	38
リモコンの準備	15	ビデオ入力 -----	39
電源コードを接続する	16	ビデオ入力に切り換える	39
接続 -----	17	カラーシステムや走査方式を選択する	40
機器をつなぐ端子	17	イメージモードの選択	41
コンピュータを接続する	18	画面のサイズを選択する	42
ビデオ機器を接続する	19	イメージ調整 -----	43
操作の前に -----	20	マニュアルでイメージ調整を行なう	43
リモコンのボタン	20	各種セッティング -----	46
本体操作パネルのボタン	22	付録 -----	51
オンスクリーンメニューの操作方法	23	リモコンでコンピュータを操作する	51
基本操作 -----	25	ランプの交換	52
電源を入れ画面を投射する	25	お手入れについて	54
電源を切る	26	内部の温度上昇について	56
投射画面を調整する	27	インジケータ表示とプロジェクターの状態	57
音量を調節する・一時的に消音する	29	故障かなと思ったら	58
画面を一時的に静止させる	30	コンピュータシステムモード一覧	59
画面を一時的に消す	30	メニュー内容一覧	61
プレゼン時に経過時間を表示する	30	仕様	63
レーザーポインタを使用する	31	別売品	64
		端子の仕様	65
		お客さまご相談窓口 -----	66
		保証とアフターサービス ----	裏表紙

～本説明書中の記号について～

	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン]名	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名称を示しています。 例：[SELECT]ボタン、[VIDEO] 端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。 例：「コントラスト」、「キーストーン」

* 本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■ 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例



注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。



たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。



してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。



たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。



しなければならない行為を示しています。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。

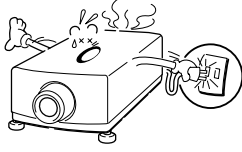


たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。

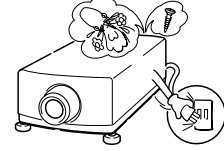
⚠ 警告



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



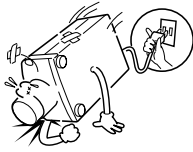
下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ・煙が出ている
- ・変なおいや音がする
- ・水など液体が本機の内部に入った
- ・金属類や異物が本機の内部に入った
- ・画面が映らない
- ・音が出ない
- ・大きな音が出てランプが消えた

このような異常状態や故障状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



警告



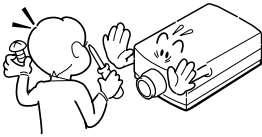
電源プラグを
コンセントから抜け

万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



分解禁止



感電注意

本機のキャビネットは外さないでください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



禁止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

※ 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐタコ足配線もしないで下さい。



禁止



水ぬれ禁止

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

警告

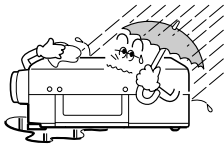


風呂、シャワー室
での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



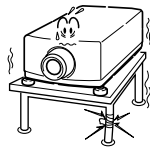
水ぬれ禁止



本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。
火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご
注意ください。



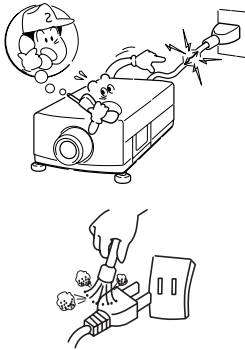
禁 止



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁 止

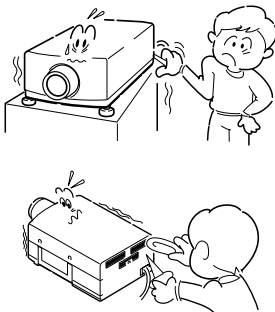


電源コードの取扱に注意してください。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならない
ようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。
コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆
うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードが傷んだら、(芯線の露出、断線など) 販売店に交換をご依
頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、
引っ張ったり、加熱したりしないでください。
コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計
が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用
すると発熱し、火災の原因となります。
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間に
たまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまっ
て湿気を帯びると、火災の原因となります。(結露するところや水槽の
近くには特にご注意ください)



禁 止



吸気口・排気口にご注意下さい。

- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴
から物などを差し込まないでください。
- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込
んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。
事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



接触禁止



雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

警告



禁止

本機を改造しないでください。

火災・感電の原因となります。



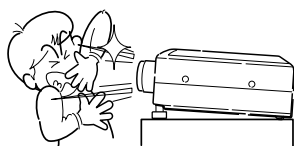
アース線を接続せよ

アース線を接地してください。

本機は接地端子の付いた 3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を設置してください。(詳しくは、16ページをご覧ください。)



警告



使用中はレンズをのぞかないでください。

強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口ものぞかないでください。



警告



レーザー光にご注意下さい。

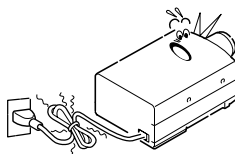
リモコンのレーザーポインターの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。



注意



禁止

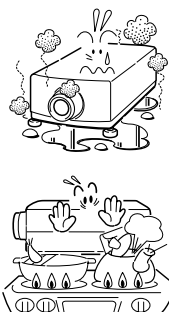


電源コードの取扱いにご注意下さい。

- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせしないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。



禁止



以下のような場所には置かないでください。

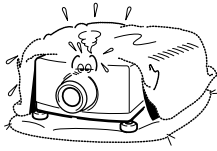
火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。

⚠ 注意



禁止



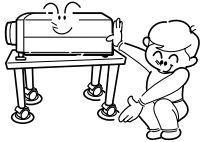
ご使用のときは、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 設置のときは、ファンの排気口を壁から1メートル以上あけてください。
- 空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。
- 次のような使い方はしないでください。
 - * 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
 - * 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - * じゅうたんや布団の上に置く。
 - * テーブルクロスなどを掛ける。
- また、壁など、周囲のものから1メートル以上はなし、風通しをよくしてください。



注意



キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。

動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

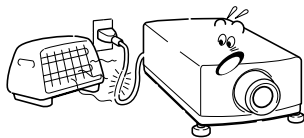


本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。

特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



禁止



電源コードを熱器具に近づけないでください。

コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。



禁止



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



ぬれ手禁止

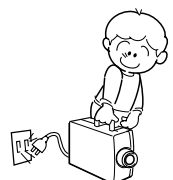


ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜け



移動させる場合は、電源コードにご注意下さい。

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意



電源プラグを
コンセントから抜け



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け

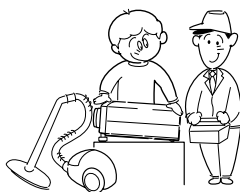


長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。



注意



長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。

掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。持ち運ぶときは、レンズの保護のためにレンズキャップをはめ、専用のケースに納めて持ち運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。輸送用の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

● 電波障害自主規制について ●

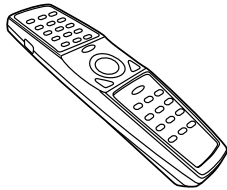
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

はじめに

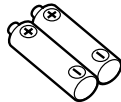
付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

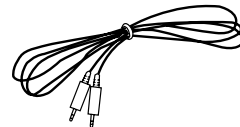
1 リモコン



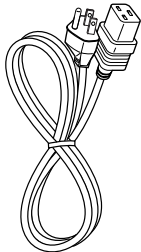
2 リモコン用アルカリ乾電池
(単三形2本)



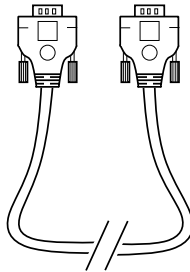
3 リモコン接続コード



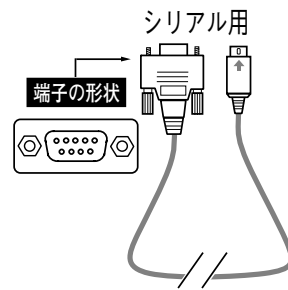
4 電源コード



5 コンピュータ接続ケーブル
(D-sub 用)



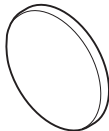
6 マウスコントロールケーブル



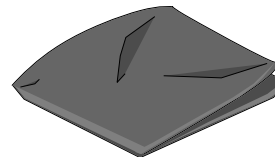
7 USBケーブル



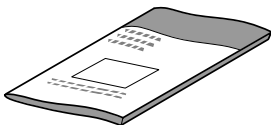
8 レンズキャップ



9 ダストカバー



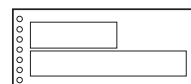
10 取扱説明書 (本書)



11 レンズ交換・
取付作業手順書



12 保証書



本体各部のなまえ

スピーカー

レンズ

レンズキャップ
本機をお使いにならないときはホコリやキズからレンズを守るためレンズキャップをはめてください。
レンズキャップを外すときは、レンズキャップの両端を持って手前に引いて外します。

調整脚
脚を回して画面の高さと左右の傾きを調整します。

操作パネル
ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。
ボタンの名称とはたらきは22ページをごらんください。

吸気口
内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

リモコン受信部-1
リモコン受信部は後面にもあります。

警告 ランプ点灯中はレンズキャップをかならず外してください。レンズキャップを付けたまま点灯すると、レンズキャップの変形および火災の原因となります。

排気口
内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

ランプカバー

電源コード接続ソケット
電源コードを接続します。

後面端子
端子の名称とはたらきは17ページをごらんください。

リモコン受信部-2
リモコン受信部は前面にもあります。

吸気口
内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

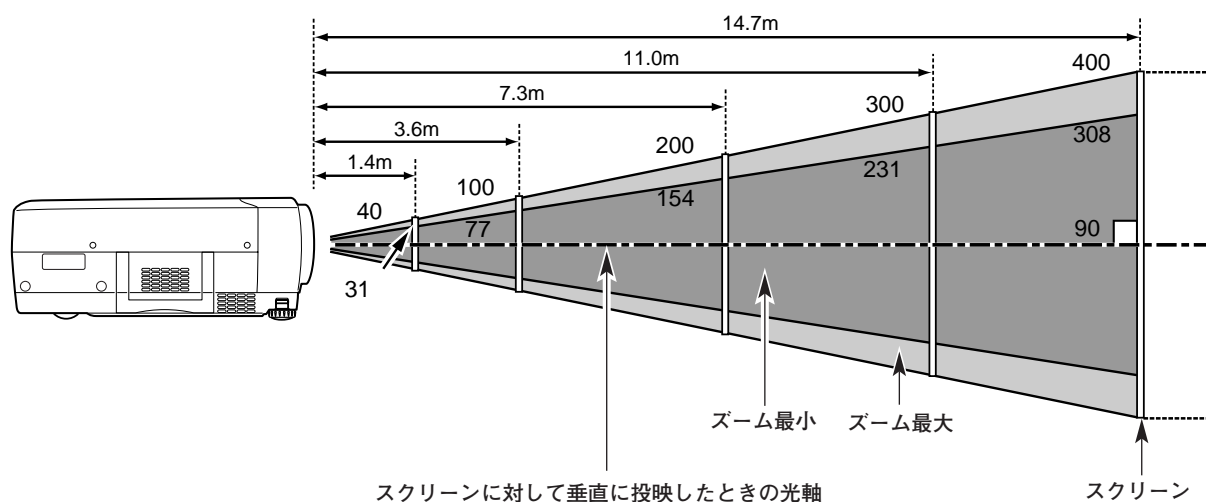
キャリングハンドル

PJ ネット・オーガナイザー取付部
プロジェクターに別売のPJ-Net Organizerを取り付けるとき、この部品を外して取り付けます。詳しくは別売のPJ-Net Organizerの取扱説明書を参照ください。

設置のしかた

スクリーンからのおよその距離と画面サイズの関係

画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。スクリーンからレンズまでの距離を約1.4m～14.7mの範囲に設置してください。



画面サイズ (幅 x 高さ : mm)	40型	60型	100型	150型	200型	300型	400型
	813 x 610	1219 x 914	2032 x 1524	3048 x 2286	4064 x 3048	6096 x 4572	8128 x 6096
投射距離 (ズーム最小)	1.8 m	2.8 m	4.7 m	7.1 m	9.5 m	14.2 m	—
投射距離 (ズーム最大)	1.4 m	2.1 m	3.6 m	5.5 m	7.3 m	11.0 m	14.7 m

※上表は4：3の画面サイズで、投映画像の内容により画面サイズが異なります。☞ 38、42ページ

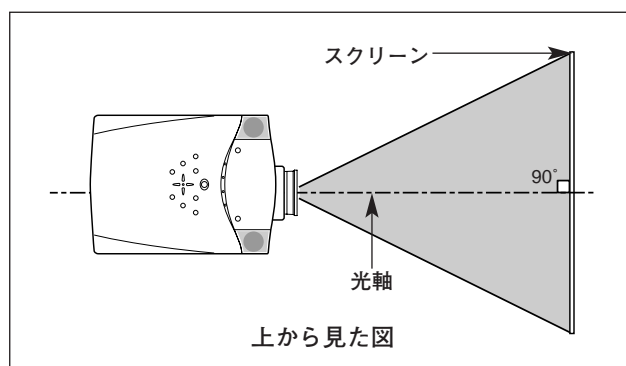
※表の画面サイズは標準的なもので、実際のサイズと異なります。

※スクリーンは太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落として下さい。

※レンズシフトと調整脚の調整位置により、投映画面の上下の位置は変わります。☞ 13、27ページ

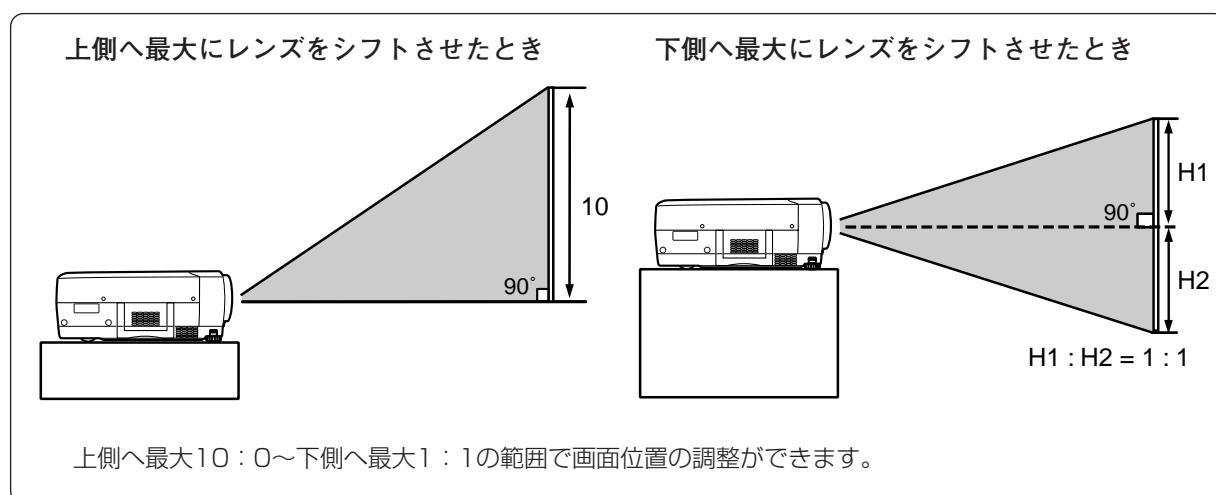
スクリーンに対して直角に設置する

投映したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。



レンズシフト機能で画面の位置を合わせる

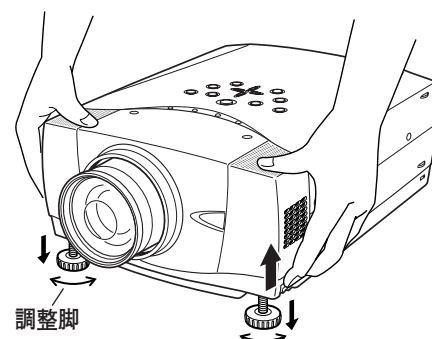
本機にはレンズシフト機能が付いており、ボタン操作でレンズを上下にスライドさせ、画面位置を上下に移動させることができます。操作のしかたについては、27ページをごらんください。



投映画面の高さと傾きを調整する

画面の上下調整は、はじめにレンズシフトで行ない、そのあと調整脚で高さの調整を行なってください。調整脚のみで調整を行なうと画面に台形のひずみが生じます。

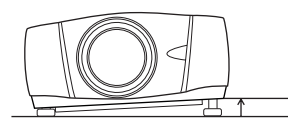
- 1 本体前方を持ち上げてから両側の調整脚ロックを指で引き上げて調整脚を伸ばし、指を離して調整脚をロックします。
- 2 本体前方の2つの調整脚をまわして投映画面の高さと傾きを微調整します。最大約10.5度まで上がります。



- 投映したときの光軸の水平方向の傾きは±10度以内に ●
スクリーンに対して光軸の水平方向の傾きが±10度以内になるように投映してください。光軸の水平方向の傾きが大きいと、ランプの寿命に悪い影響を与えます。



注意

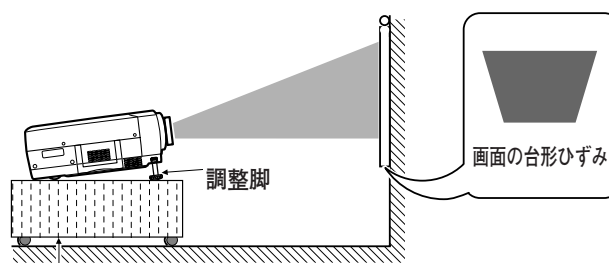


水平の傾きは最大約10度まで

● 画面の台形ひずみ（あおり） ●

調整脚を上げると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。☞ 28ページ



設置台

※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

設置するときは次のことに注意してください

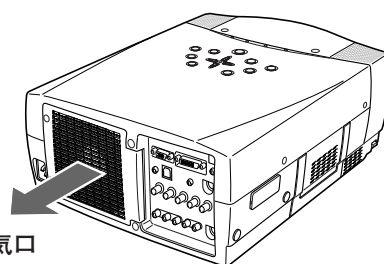
● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

- ・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・観葉植物やペットを置かないでください。
- ・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・排気口付近には視聴席を設けないでください。



熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。



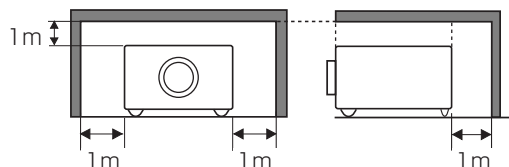
● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲	5℃～35℃	保管温度範囲	-10℃～60℃
--------	--------	--------	----------

● 壁などから上・左右・後方各1 m以上あけて設置してください ●

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。

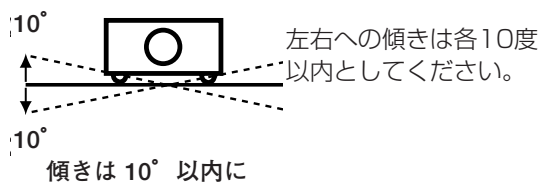


● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

正しい方向に設置してください

プロジェクターを正しい方向に設置ください。指定外の方向に設置すると、故障や事故の原因となります。



横置き禁止

横に立てて設置して投影しないでください。



上向き禁止

上向きに設置して投影しないでください。



下向き禁止

下向きに設置して投影しないでください。

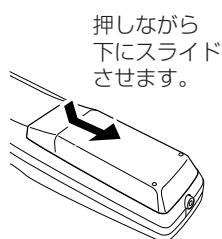
● ご注意・著作権について ●

この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り替え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行ないますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

リモコンの準備

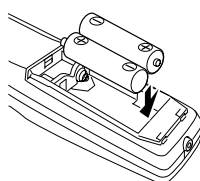
電池の入れかた

1 電池カバーを開けます。



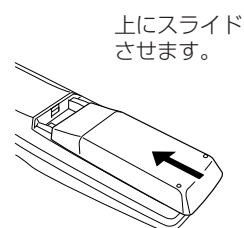
2 電池を入れます。

付属の乾電池を＋プラス、
－マイナスに注意して入れます。



使用乾電池
単3形アルカリ乾電池2本

3 電池カバーを閉めます。



● 電池を使用するときのご注意 ●

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんで注意ください。

- ・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- ・乾電池は充電しない。分解しない。
- ・＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
- ・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- ・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。



注意



禁止

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- ・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- ・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

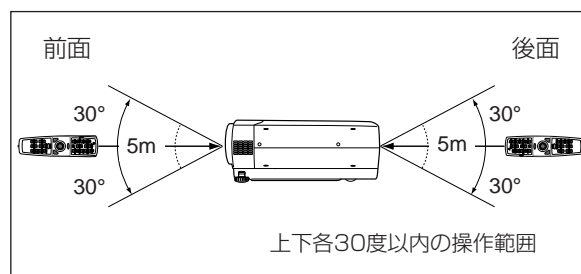
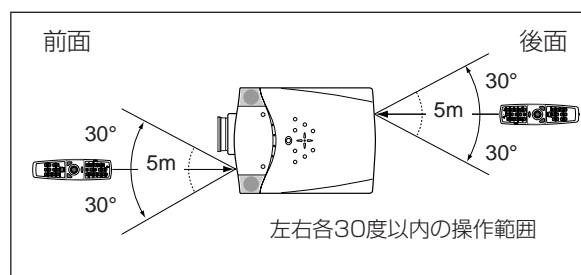
リモコンで操作できる範囲

ワイヤレスリモコンとして使用する場合、リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面と後面のリモコン受信部から約5m以内、上下左右30度以内です。

※ 間に障害物があると操作の妨げになります。

● リモコンを使用するときのご注意 ●

- ・本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。
- ・液状のものをかけない。
- ・落としたり衝撃を与えない。
- ・熱や湿気をさける。



警告

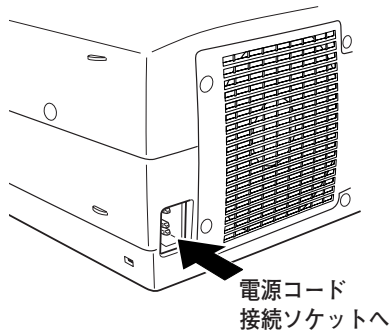
リモコンのレーザポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER-KLASSE 2
レーザ放射 クラス2レーザ製品
ヒームをのぞき込まないこと
IEC8025-1, Ann.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力): 1mW
WAVE LENGTH (波長): 650±20nm

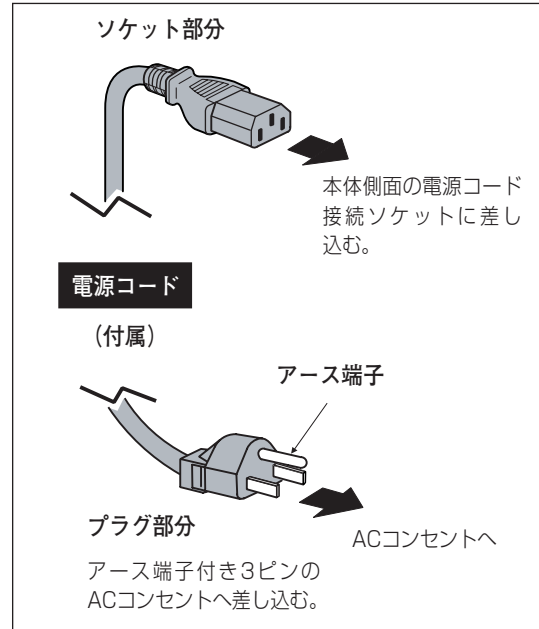
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、17～19ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードのソケット部分を本体側面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き3ピンのACコンセントに差し込みます。



● アース端子を接地してください ●

機器を安全にご使用いただくために、電源プラグのアース端子の接地を行なってください。また、アース端子の接地はコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因となることがあります。

機器をつなぐ端子

本機の後面にはコンピュータやビデオ機器を接続するための入出力端子を装備しています。機器をつなぐときは、17～19ページを参照して正しく接続してください。

The diagram shows the back panel of a projector with the following ports and their corresponding callout boxes:

- 音声入出力端子 1** (Audio I/O 1): Located at the top left, connected to the AUDIO IN/OUT port.
- RGB アナログ入出力端子** (RGB Analog I/O): Located at the top center, connected to the ANALOG IN/OUT port.
- RGB デジタル入力端子** (RGB Digital Input): Located at the top center, connected to the DIGITAL (DVI-D) port.
- リモートコントロール端子** (Remote Control Port): Located at the top right, connected to the R/C JACK port.
- リセットボタン** (Reset Button): Located on the right side, connected to the RESE button.
- コントロールポート端子** (Control Port): Located in the middle right, connected to the CONTROL PORT.
- ビデオ入力端子** (Video Input): Located in the middle left, connected to the VIDEO/Y, Cb/Pb, and Cr/Pr ports.
- S 映像 入力端子** (S-Video Input): Located in the middle right, connected to the S-VIDEO port.
- 音声入力端子 2** (Audio Input 2): Located in the middle right, connected to the AUDIO IN/OUT port.
- ビデオ入力端子およびコンピュータ アナログ入力端子** (Video Input and Computer Analog Input): Located at the bottom left, connected to the VIDEO/Y, Cb/Pb, Cr/Pr, and ANALOG IN/OUT ports.
- 音声入力端子 3** (Audio Input 3): Located at the bottom center, connected to the R-AUDIO-L (MONO) port.

音声入出力端子 1
 投映中のコンピュータまたはビデオ機器からの音声出力（ステレオ）をこの端子に接続します。または、外部のオーディオ機器へ出力する端子として切り替えて使用することができます。☞ 18ページ

RGB アナログ入出力端子
 コンピュータからのアナログ (RGB) 出力と接続します。または、コンピュータモニター出力として切り替えて使用することができます。接続には付属のD-sub用コンピュータ接続ケーブルを使用します。☞ 18、65ページ

RGB デジタル入力端子
 DVI規格対応の端子を持つコンピュータからのデジタル (TMDS) 出力と接続します。接続には別売のDVI用コンピュータ接続ケーブルを使用します。☞ 18、65ページ

リモートコントロール端子
 この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を付属の接続コードでつなぐと、リモコンがワイヤードリモコンとなり、リモコンの向きに関係なくプロジェクターの操作ができます。☞ 21ページ

リセットボタン
 本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行なわれていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく操作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の細い棒等で押して本機の再起動を行なってください。それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。

コントロールポート端子
 コンピュータのマウス操作をプロジェクターのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータのマウスポート端子を付属のマウスコントロールケーブルでつなぎます。☞ 18、51、65ページ

ビデオ入力端子
 ビデオ機器からの映像出力と接続します。コンポジット映像出力は [VIDEO/Y] へ、コンポーネント映像出力は [VIDEO/Y, Cb/Pb, Cr/Pr] へ接続します。☞ 19ページ

S 映像 入力端子
 ビデオ機器からのS映像出力をこの端子に接続します。☞ 19ページ

音声入力端子 2
 投映中のコンピュータまたはビデオ機器からの音声出力（ステレオ）をこの端子に接続します。☞ 18、19ページ

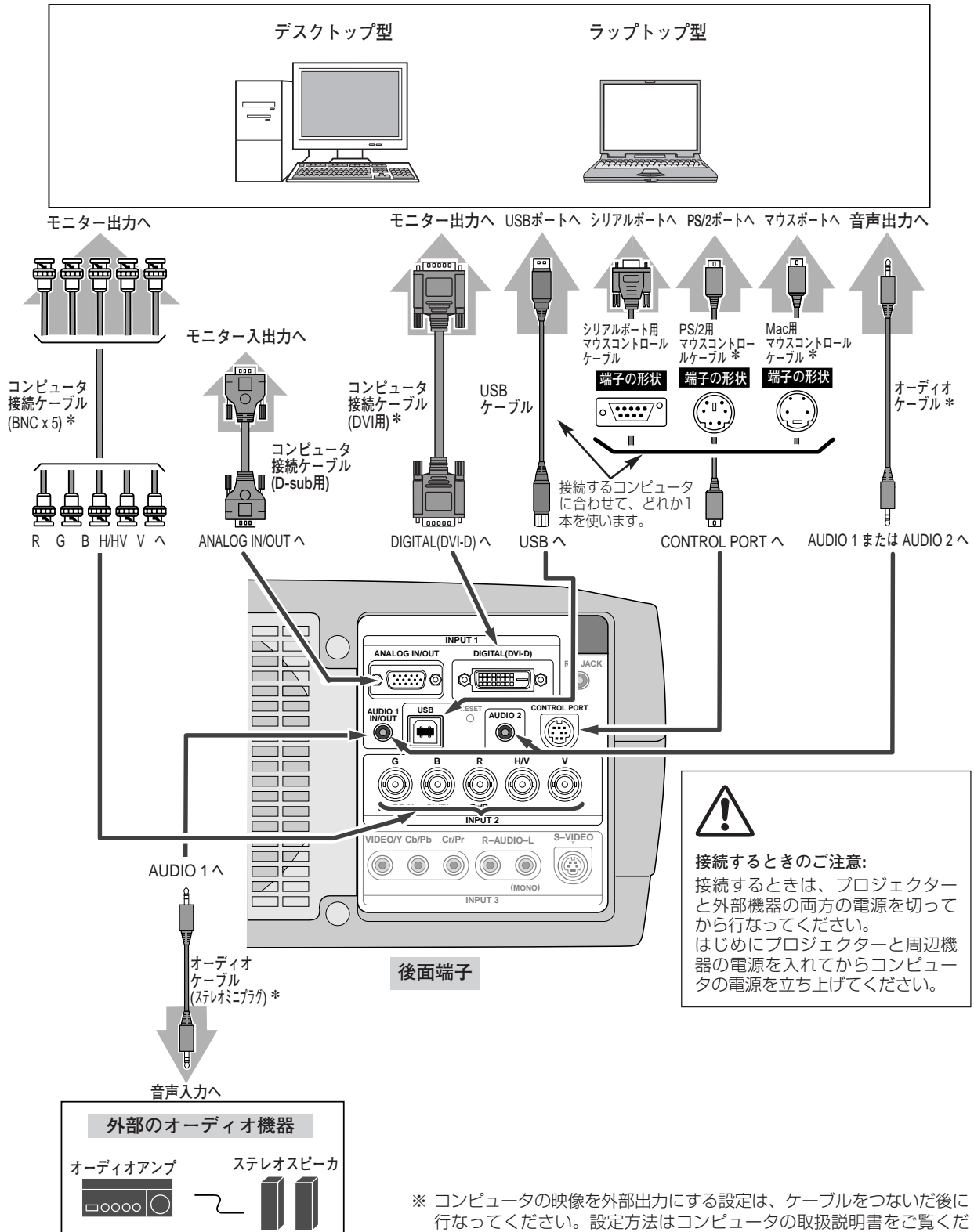
ビデオ入力端子およびコンピュータ アナログ入力端子
 DVDプレーヤーやHDTVなどからのコンポーネント映像出力 (Y, Pb, Pr)、または、コンピュータからのアナログ (RGB) 出力を接続します。☞ 18、19ページ

音声入力端子 3
 ビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は [L (MONO)] 端子へ接続してください。☞ 19ページ

コンピュータを接続する (例)

接続に使用するケーブル (* = 市販または別売のケーブルをお使いください。)

- コンピュータ接続ケーブル (D-sub用、DVI用 *または BNC x 5 *)
- マウスコントロールケーブル: (シリアルポート用、PS/2用*、Mac用 *)
- USBケーブル
- オーディオケーブル (ステレオミニプラグ *)



* コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

ビデオ機器を接続する (例)

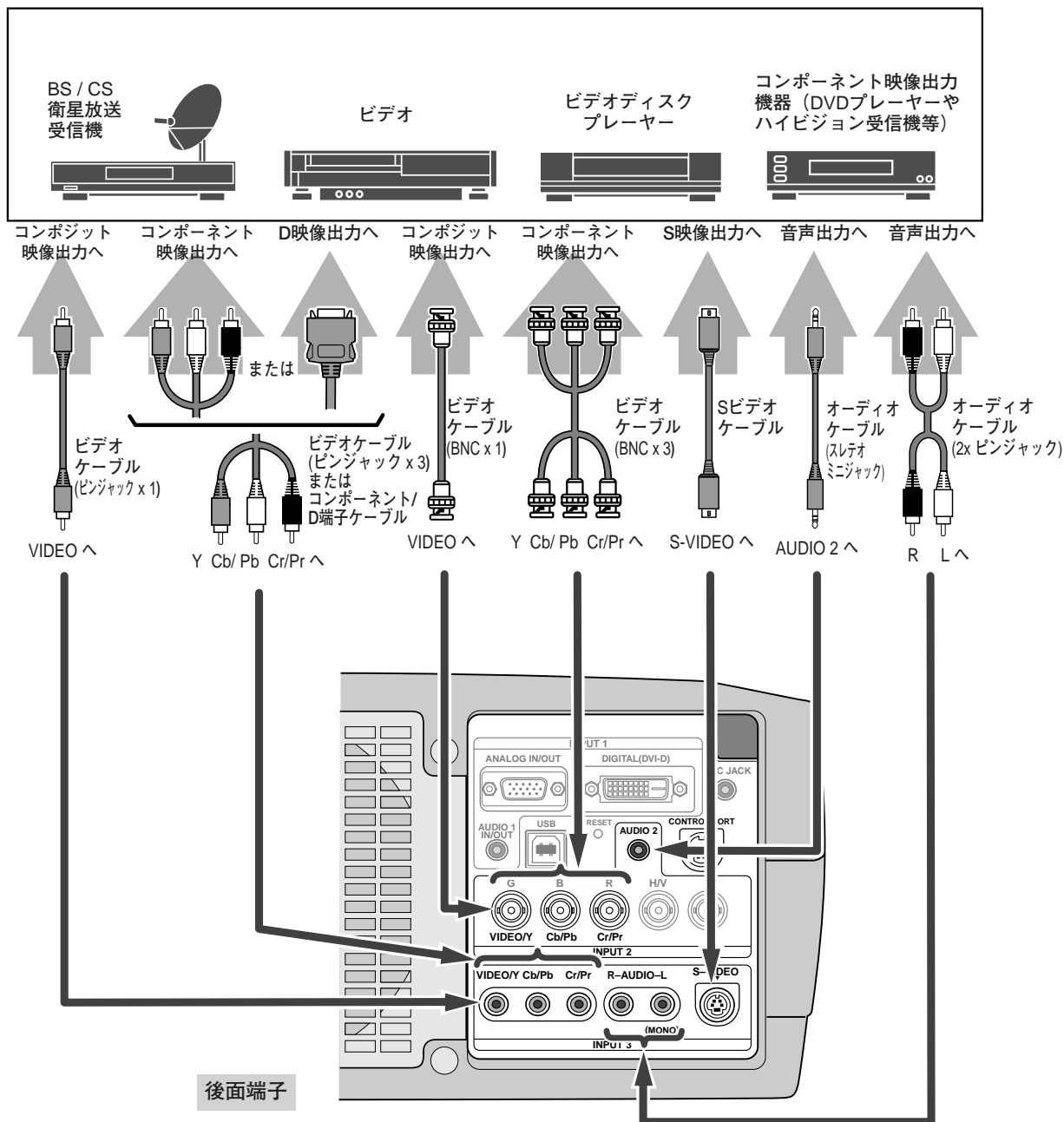
接続に使用するケーブル (市販のケーブルをお使いください。)

- ビデオケーブル
(1x ピンジャック、3x ピンジャック、BNC x 1、BNC x 3)
- Sビデオケーブル (ミニDIN 4ピン) • D端子ケーブル
- オーディオケーブル (2x ピンジャック)
- オーディオケーブル (ステレオミニプラグ)



接続するときの注意:

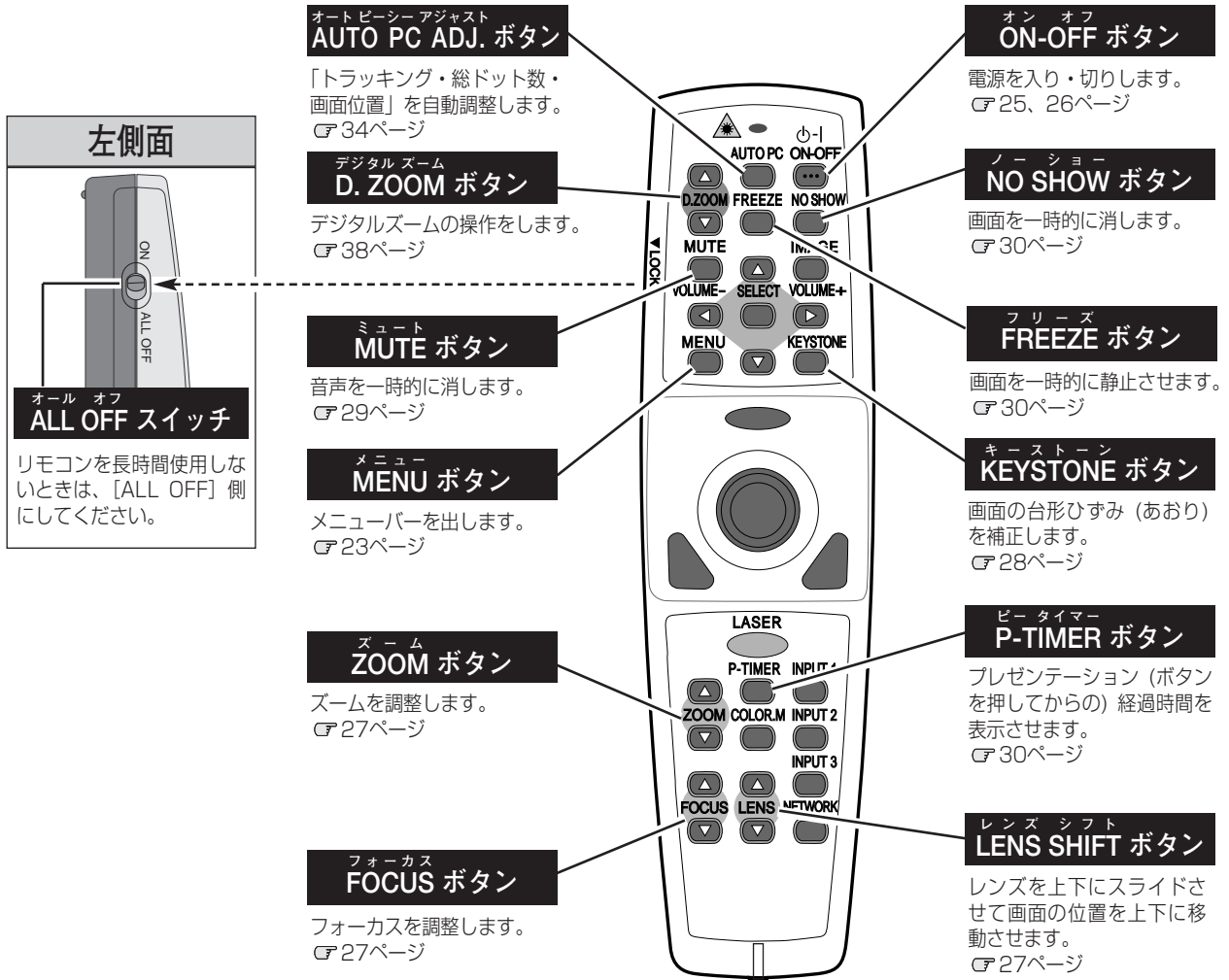
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。



操作の前に

リモコンのボタン


付属のマウスコントロールケーブルでコンピュータとプロジェクターを接続するとコンピュータのマウスとしてご使用いただけます。ご使用前にリモコン左側面のスイッチを [ON] にします。使用後は [ALL OFF] にしてください。



● リモコンの持ち方 ●

リモコンは図のように持つと便利に操作できます。

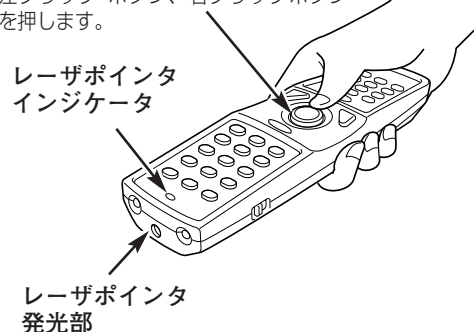
親指でマウスポインタの上・下・左・右、左クリックボタン、右クリックボタンを押します。

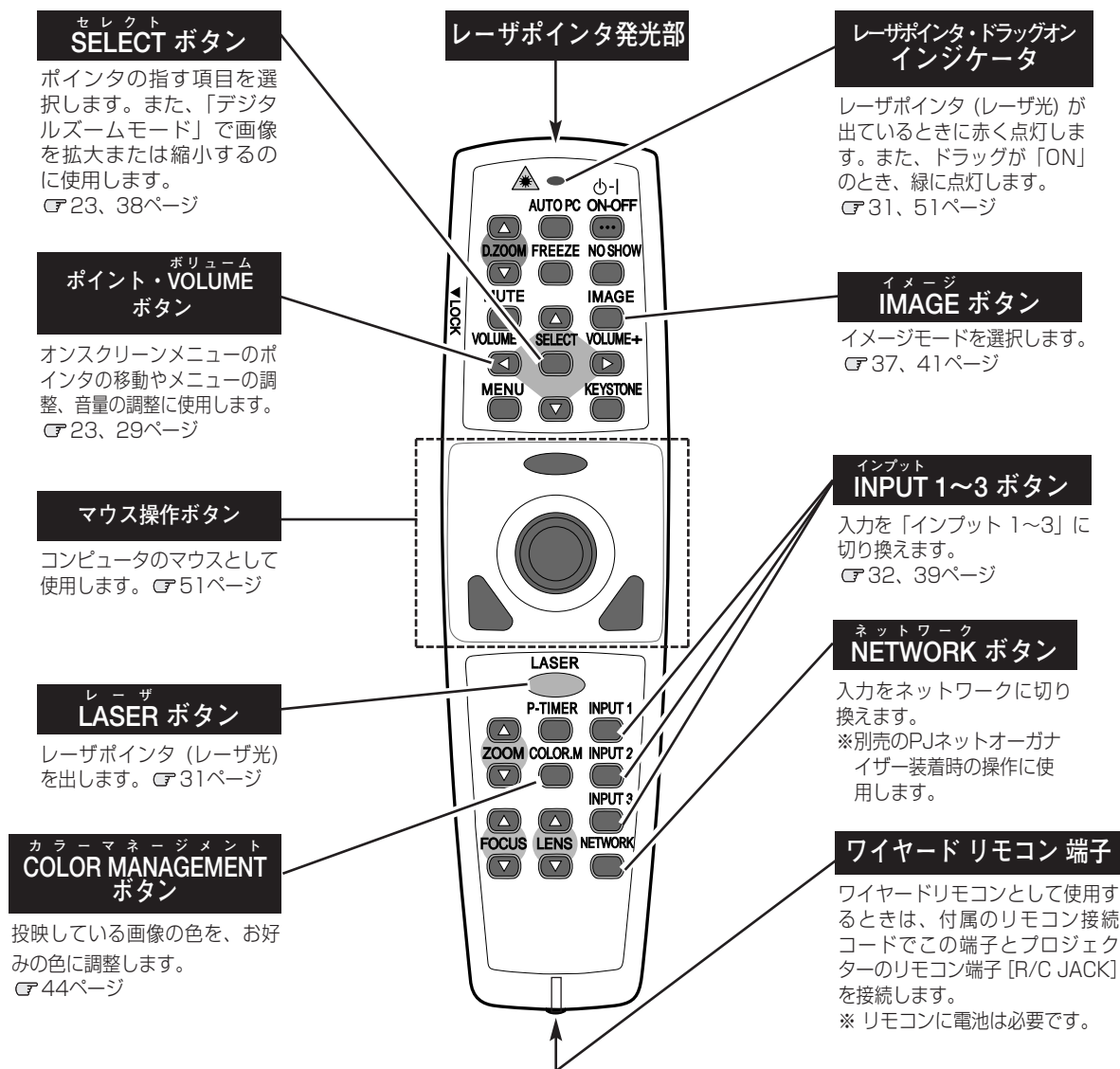


警告

リモコンのレーザーポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使用せたりしないでください。

LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER KLASSE 2
レーザー放射 クラス2レーザー製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力) : 1mW
WAVE LENGTH (波長) : 650±20nm





●ディップスイッチの設定●

リモコンの電池カバー内に、ディップスイッチがあります。ご使用状況に合わせ、ディップスイッチを設定してください。

スイッチ1、2、3

スイッチの切り換えにより、8モードのリモコンコードに切り換えられます。機器間で類似コードによる誤動作が生じる場合、コードを切り換えてご使用ください。リモコンコードを切り換えると、プロジェクター本体のコード変更も必要です。

※ リモコンコードについての詳しくは、49ページをご覧ください。

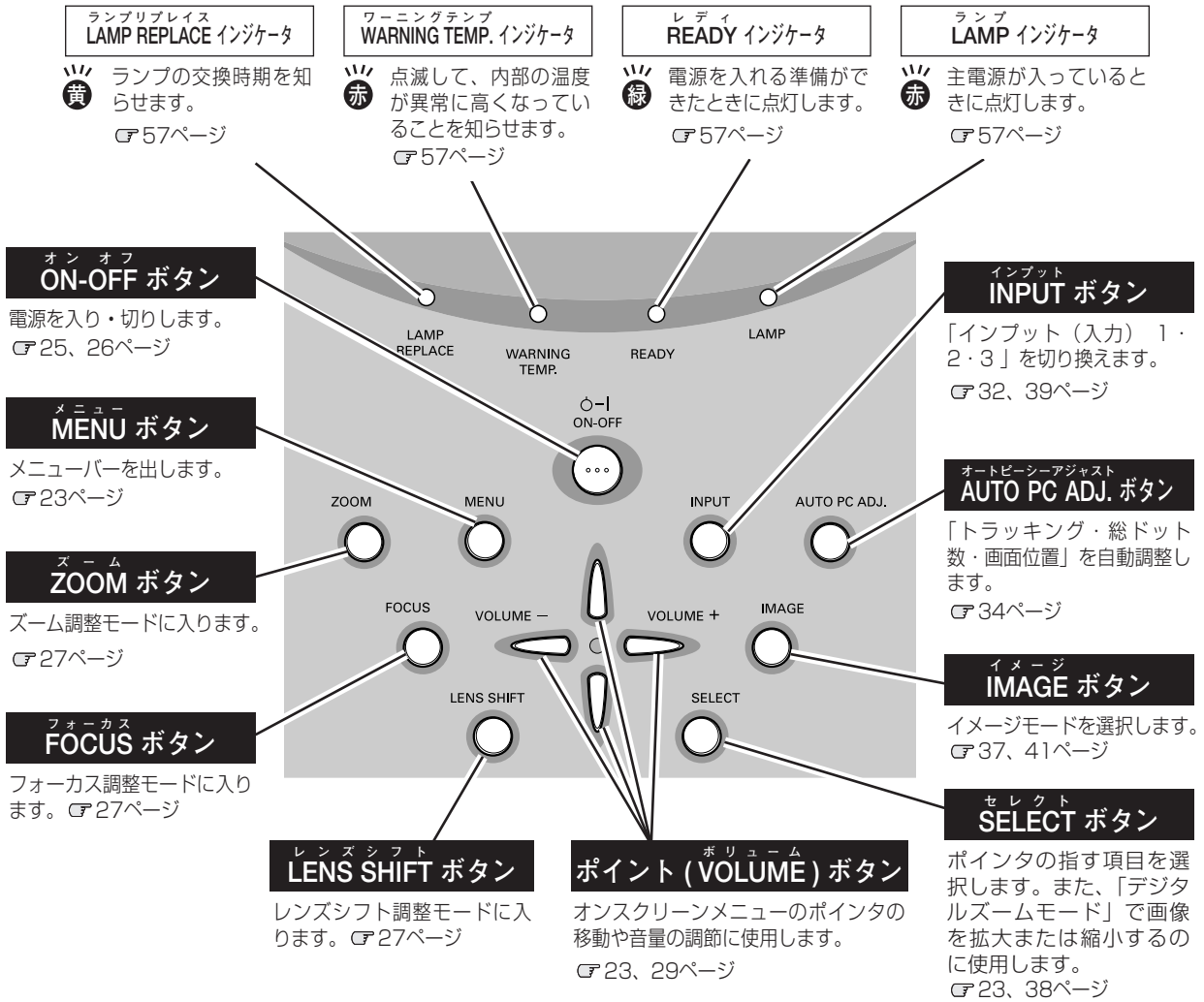
スイッチ4

レーザーポインタ機能の「ON/OFF」の設定。
[OFF] 側にすると機能が停止します。

リモコンコードスイッチ設定

スイッチ	スイッチ			コードNo.
	1	2	3	
ON	ON	ON	ON	コード1
ON	ON	OFF	ON	コード2
ON	OFF	ON	ON	コード3
ON	OFF	OFF	ON	コード4
OFF	ON	ON	ON	コード5
OFF	ON	OFF	ON	コード6
OFF	OFF	ON	ON	コード7
OFF	OFF	OFF	ON	コード8

本体操作パネルのボタン



オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

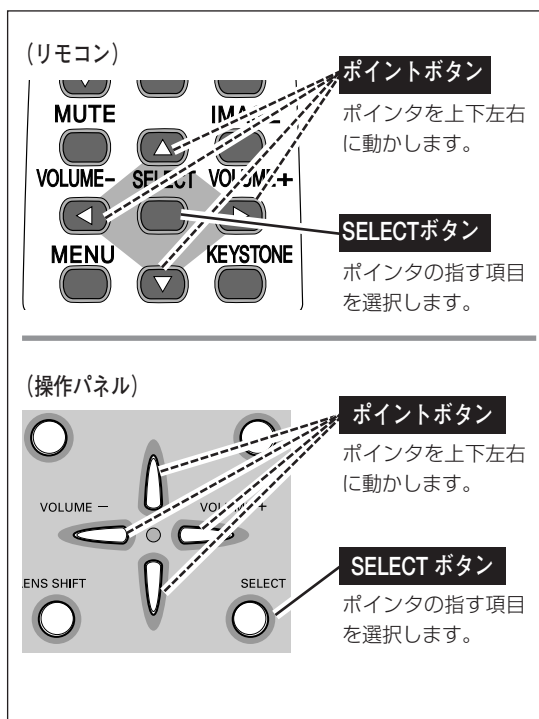
オンスクリーンメニュー(画面上のメニュー)の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

①ポインタの動かしかた

ポインタは、[ポイント] ボタンで上下左右に動かします。[ポイント] ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

②項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコンを選択するには、[SELECT] ボタンを押します。[SELECT] ボタンはリモコンと操作パネルにあります。



操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

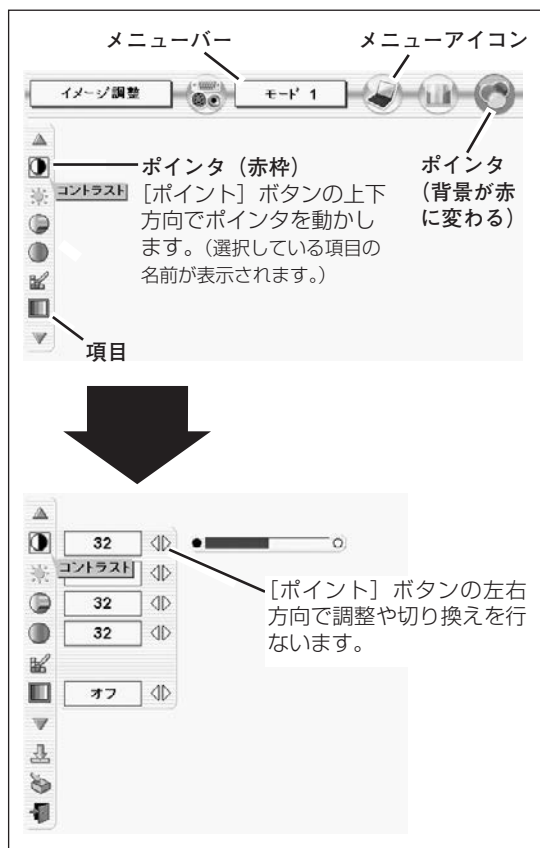
- 1 [MENU] ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。(次ページ参照) メニューバーには選択できるメニューがアイコン(操作をイメージした図)の形で一覧表示されます。
アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

- 2 [ポイント] ボタンの左右でメニューを選択します。選択されたアイコンは背景が赤に変わります。

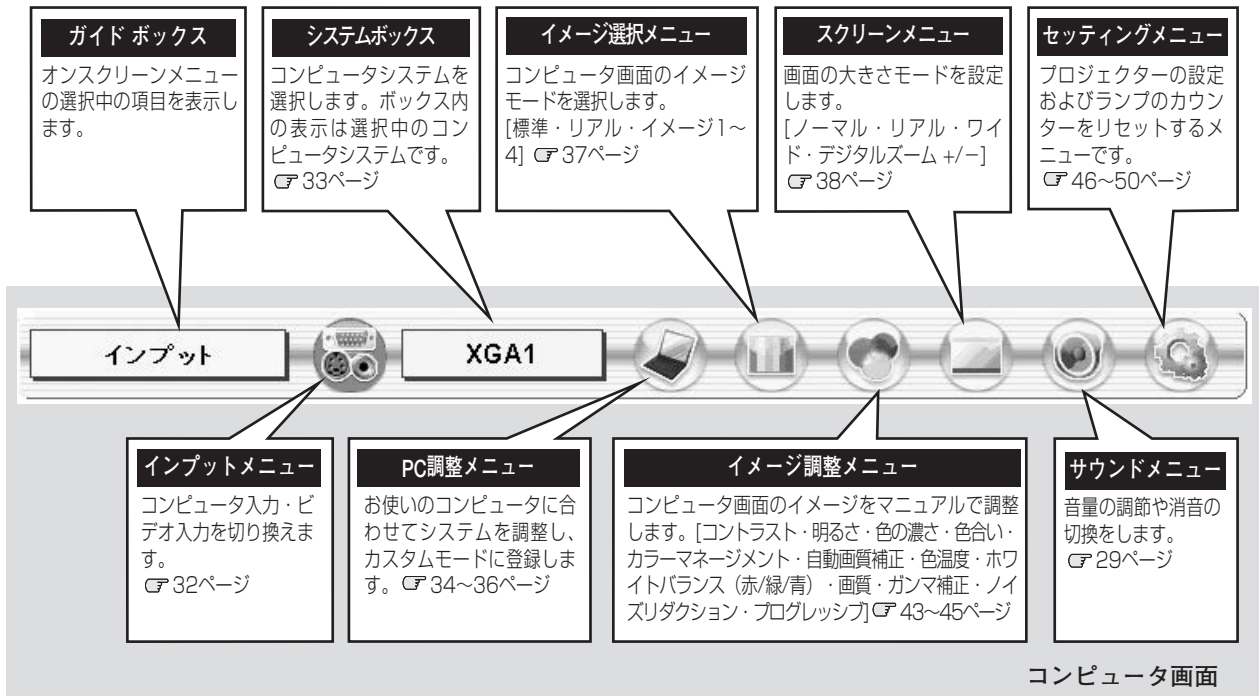
メニュー画面で調整や切り換えを行なう

- 3 [ポイント] ボタンの下でポインタをメニュー内に降ろし、調整する項目にポインタを合わせます。
- 4 [SELECT] ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。
- 5 [ポイント] ボタンの左右で、調整や切り換えを行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項目を参照してください。

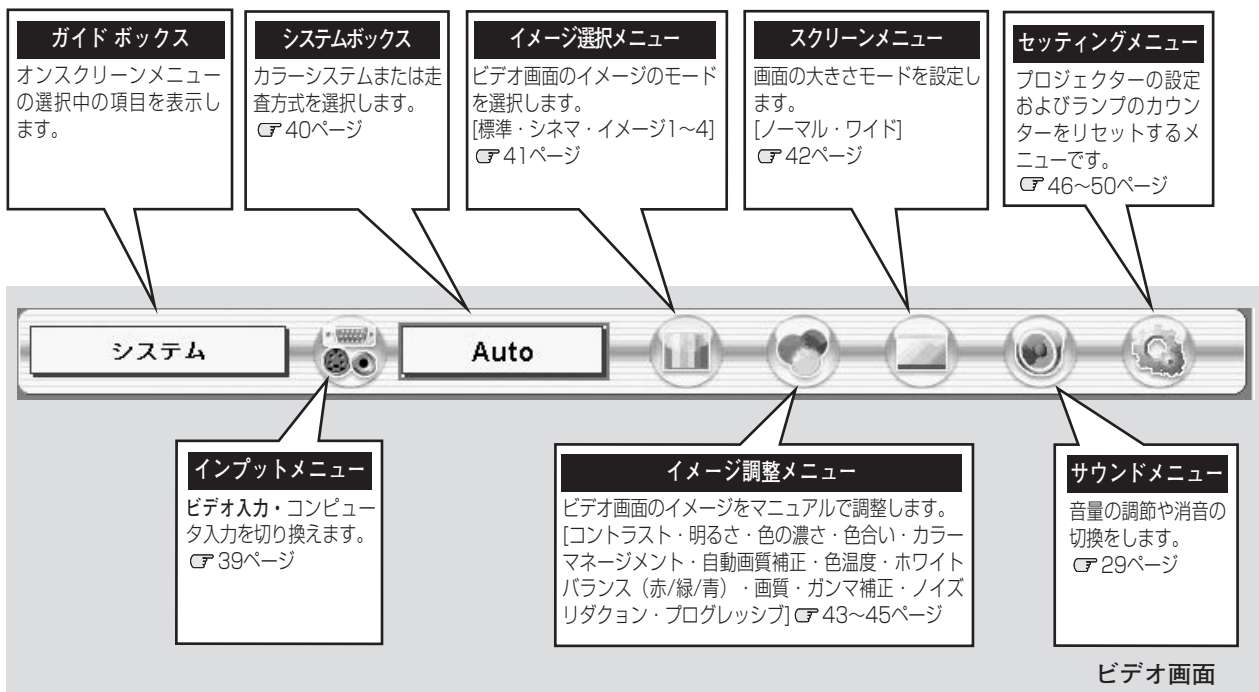


メニューバー

コンピュータ画面のメニューバー



ビデオ画面のメニューバー



電源を入れ画面を投映する

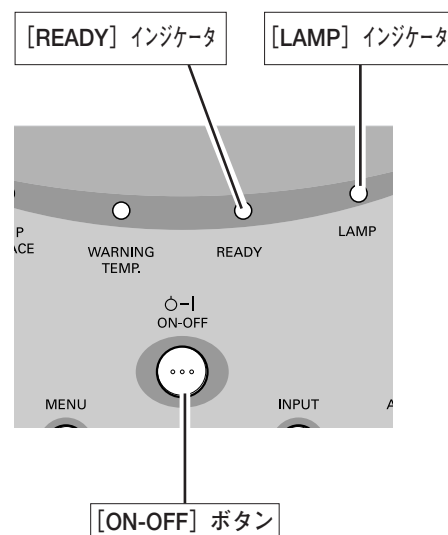
電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、17～19ページを参照してコンピュータ、ビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードをACコンセントに接続します。(☞16ページ)
赤色の[LAMP]インジケータと緑色の[READY]インジケータが点灯します。
- 2 リモコンまたは操作パネルの[ON-OFF]ボタンを押して電源を入れます。
[LAMP]インジケータが少し暗めの点灯にかわります。
約30秒間のオープニング画面が終わると画像が映せます。



入力モードとランプモードの表示



- ※ オープニング画面が終わると画面の左上に入力モードとランプ表示(ランプの点灯状況を示すランプモード表示)が約5秒間出ます。
ランプモードの詳細は46ページをごらんください。
- ※ [LAMP]インジケータ以外のランプが点灯し、電源が入らないときは、57ページの「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で動作を確認ください。
- ※ セッティングメニューで「オンスクリーン表示 オフ」に設定しているときはオープニング画面は出ません。☞47ページ

● 電源を切った後、約90秒間は電源が入りません ●

電源を切った後、約90秒間は、次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は[ON-OFF]ボタンを押しても電源は入りません。この間は電源コードを抜かないでください。90秒経ち、緑色の[READY]インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

● ご使用にならないときは電源コードを抜いてください ●

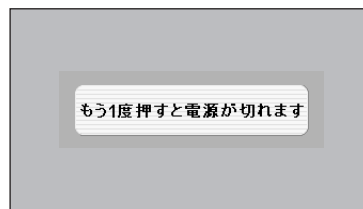
本機は、操作パネルやリモコンの[ON-OFF]ボタンで電源を切っても、約15Wの電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。



注意

電源を切る

- 1 リモコンまたは操作パネルの [ON-OFF] ボタンを押すと、画面に「もう一度押すと電源が消えます」の表示が出ます。
- 2 表示が出ている間に再度 [ON-OFF] ボタンを押すと画面と音が消え、電源が切れます。
電源が切れると緑色の [READY] インジケータが消え、赤色の [LAMP] インジケータが明るく点灯します。



※表示は約4秒間出ます。

● 電源を切った後、約90秒間は電源が入りません ●

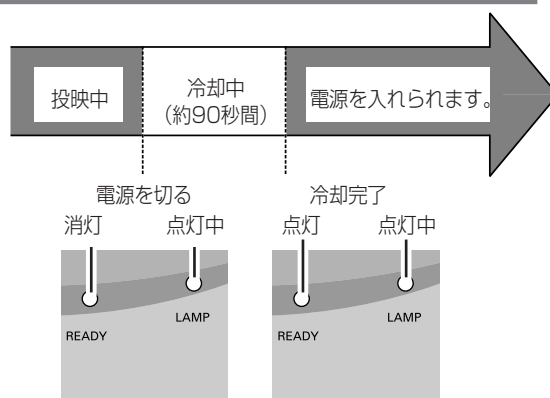
電源を切った後、約90秒間は、次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は [ON-OFF] ボタンを押しても電源は入りません。またこの間は電源コードを抜かないでください。約90秒経ち、緑色の [READY] インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

● ランプを長持ちさせるために ●

ランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源プラグを抜くときは、[ON-OFF] ボタンで電源を切り、約90秒経過後、緑色の [READY] インジケータが点灯してから行なってください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

● 冷却ファンについて ●

電源が入っている間、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。



プロジェクターを24時間以上連続して使用しないでください。連続して使用する場合24時間に一度電源を切り、1時間休ませてください。続けて使用すると、ランプの寿命を縮める原因となります。

パワーマネジメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネジメント機能が搭載されています。30秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。☞ 48ページ

パワーマネジメントの動作について

設定が「待機」の時

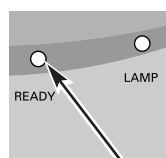
- 1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作に入ります。ランプ冷却中は [READY] インジケータが消灯し、プロジェクターの操作は出来ません。
- 2) ランプの冷却が完了すると [READY] インジケータが点滅を始め、パワーマネジメントモードになっていることを知らせます。この状態の時に、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投影されます。

設定が「シャットダウン」の時

- 1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作に入ります。ランプ冷却中は [READY] インジケータが消灯し、プロジェクターの操作は出来ません。
- 2) ランプの冷却が完了すると、電源が切れます。



タイマー表示



パワーマネジメントモードになると、[READY] インジケータが点滅を始めます。

投映画面を調整する

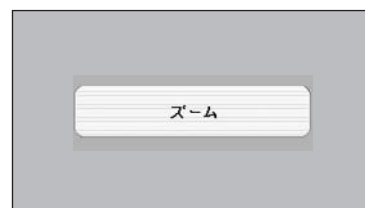
画面の大きさを決める (ZOOM)

リモコンで操作するとき

[ZOOM] ボタン 上・・・画面が大きくなります。
[ZOOM] ボタン 下・・・画面が小さくなります。

操作パネルで操作するとき

- 1 操作パネルの [ZOOM] ボタンを押します。
画面に「ズーム」表示が現れます。
- 2 表示が出ている間に [ポイント] ボタンの上下で、画面の大きさを調整します。
[ポイント] ボタン 上・・・画面が大きくなります。
[ポイント] ボタン 下・・・画面が小さくなります。



※表示は約4秒間出ます。

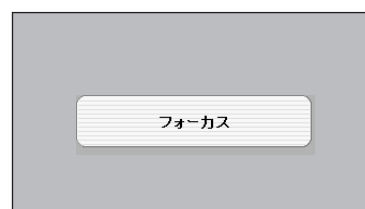
フォーカスを合わせる (FOCUS)

リモコンで操作するとき

リモコンの [FOCUS] ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

操作パネルで操作するとき

- 1 操作パネルの [FOCUS] ボタンを押します。
画面に「フォーカス」表示が現れます。
- 2 表示が出ている間にポイントボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。



※表示は約4秒間出ます。

レンズシフト機能で画面の位置を上下に動かす (LENS SHIFT)

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

- 1 リモコンの [LENS] ボタン上下、または操作パネルの [LENS] ボタンを押します。
画面に「レンズシフト」表示が現れます。
- 2 表示が出ている間にリモコンの [LENS] ボタン上下、または操作パネルの [ポイント] ボタンの上下で、画面の位置を上下に動かします。



※表示は約4秒間出ます。

※画面位置を動かしたときは、多少画面が暗くなる場合があります。

キーストーン調整で画面の台形ひずみを補正する(KEYSTONE)

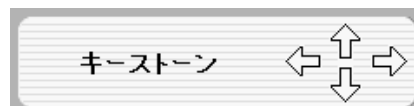
リモコンで操作するとき

リモコンの [KEYSTONE] ボタンを押します。
「キーストーン」表示が現われます。表示が出ている間に上下左右のポイントボタンで画面の台形ひずみを補正します。

- [ポイント] ボタン 上・・・画面上部の幅が縮みます。
- [ポイント] ボタン 下・・・画面下部の幅が縮みます。
- [ポイント] ボタン 左・・・画面左部の高さが縮みます。
- [ポイント] ボタン 右・・・画面右部の高さが縮みます。

※ [KEYSTONE] ボタンは操作パネルにはありません。

※ 「キーストーン」表示が現れているあいだに、もう一度リモコンの [KEYSTONE] ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。



- ※ 表示は約10秒間出ます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。
- ※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。(無補正の場合の表示は白色です。)
- ※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

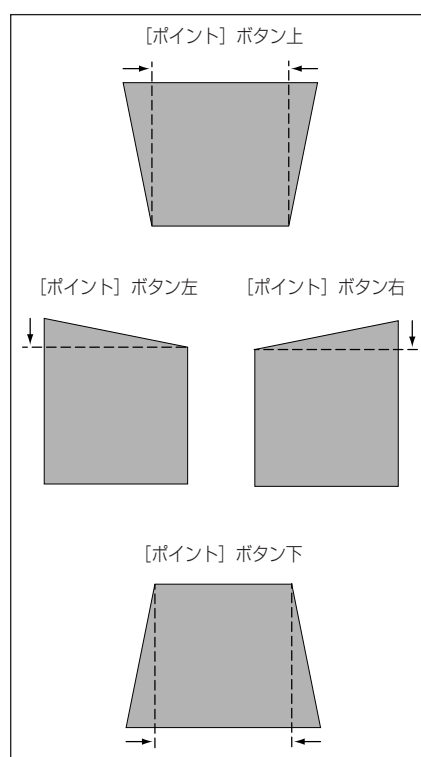
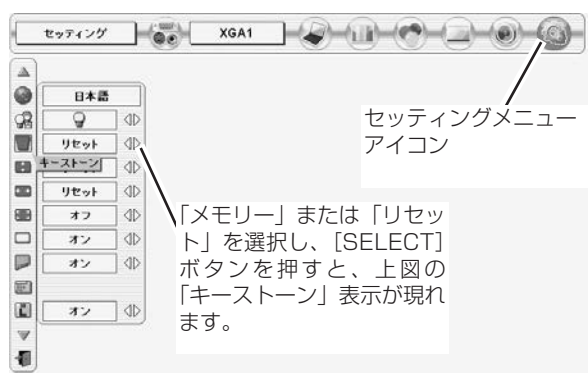
オンスクリーンメニューで操作するとき

1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポイントをセッティングメニューのアイコンに合わせます。

2 [ポイント] ボタン下でポイントをキーストーンのアイコンに合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。
[ポイント] ボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。☞46ページ
もう一度 [SELECT] ボタンを押すと、キーストーン調整モードに入ります。画面に「キーストーン」表示が現われます。

3 表示が出ている間に上下左右の [ポイント] ボタンで画面の台形ひずみを補正します。

※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。



音量を調節する・一時的に消音する (MUTE)

ダイレクトボタンで音を調節する

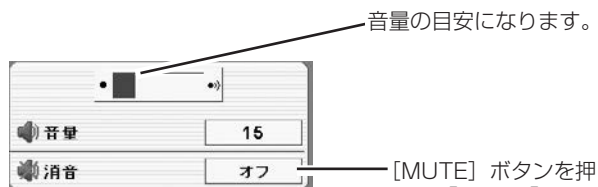
音量

リモコンまたは操作パネルの [VOLUME] ボタン (+/-) で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

消音

リモコンの [MUTE] ボタンを押すと、一時的に音が消えます。もう一度 [MUTE] ボタンを押すか、[VOLUME] ボタン (+/-) を押すと解除されます。

※ [MUTE] ボタンは操作パネルにはありません。



※ 表示は約4秒で消えます。
 ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

サウンドメニューで音を調節する

1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「サウンド」メニューのアイコンに合わせます。

2 [ポイント] ボタン下でポインタをお好みの項目に合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。

音量

[ポイント] ボタン左で音量が小さくなり、[ポイント] ボタン右で音量が大きくなります。音量のバーを目安に調節してください。

スピーカ

プロジェクター内蔵のスピーカの調整をします。
 [ポイント] ボタン右または左で、「オン」「オフ」を切り換えます。

[オフ]・・・内蔵スピーカから音を出しません。

消音

[ポイント] ボタン右または左で「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

※ 消音を「オン」にしても「音量」の数値を変更すれば「オフ」になります。

サウンドメニュー



画面を一時的に静止させる (FREEZE)

リモコンの [FREEZE] ボタンを押すと、再生機器に関係なく投映画面だけが静止します。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。

※ [FREEZE] ボタンは操作パネルにはありません。

● こんなときに便利です ●

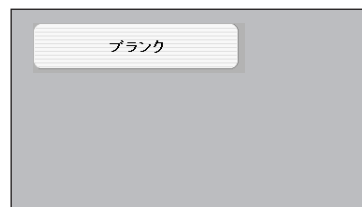
プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には [FREEZE] ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

画面を一時的に消す (NO SHOW)

リモコンの [NO SHOW] ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投映画面を一時的に消すことができます。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。

※ [NO SHOW] ボタンは操作パネルにはありません。



※表示は約4秒間出ます。

● こんなときに便利です ●

プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

プレゼン時に経過時間を表示する (P-TIMER)

リモコンの [P-TIMER] ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。もう一度 [P-TIMER] ボタンを押すと経過時間のカウントが止まり、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに [P-TIMER] ボタンを押すと解除されます。

※ [P-TIMER] ボタンは操作パネルにはありません。



※00分00秒から最長59分59秒まで経過時間を画面表示できます。

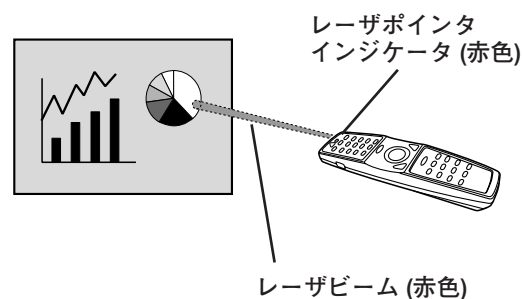
● こんなときに便利です ●

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。

レーザーポインタを使用する (LASER)

リモコンの [LASER] ボタンを押している間 [レーザーポインタ] インジケータ (赤色) が点灯し、リモコンのレーザーポインタ発光部からレーザービームが出ます。☞ 20、21ページ ボタンを押すのを止めると、レーザービームの発光は止まります。

- ※ [LASER] ボタンは操作パネルにはありません。
- ※ [LASER] ボタンを押し続けても、1分経つと安全のため自動的にレーザービームの発光が止まります。
- [LASER] ボタンを押し直すと、レーザービームが再び出ます。



● こんなときに便利です ●

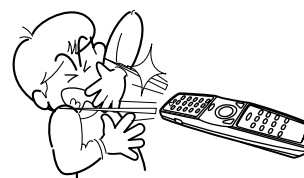
プレゼンテーションで画面の注目してほしい部分を赤いレーザー光で指すことができます。



警告

リモコンのレーザーポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER KLASSE 2
レーザー放射クラス2 レーザー製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力) : 1mW
WAVE LENGTH (波長) : 650±20nm



コンピュータ入力

コンピュータ入力に切り換える

ダイレクトボタンで入力を切り換える

リモコンの [INPUT 1] ボタン、[INPUT 2] ボタン、または操作パネルの [INPUT] ボタンを押して、「インプット 1」または「インプット 2」を選択します。

インプットメニューで入力を切り換える

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタをインプットメニューのアイコンに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下で、コンピュータ信号が入力されている端子（「インプット 1」または「インプット 2」）にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。信号形式選択メニューが現れます。
※「インプット 3」はビデオ入力時に使用します。
- 3 ポインタを希望する信号形式に合わせ、[SELECT] ボタンで選んで下さい。

インプット 1 ☞ 18ページ

[ANALOG IN/OUT (ミニD-sub15ピン)] 端子にアナログ信号が入力されている場合は「RGB (アナログ)」を、[DIGITAL(DVI-D)] 端子にデジタル信号が入力されている場合は「RGB (PC デジタル)」を選択します。

[DIGITAL(DVI-D)] 端子にHDCP技術でコピープロテクトされたハイビジョン信号を接続したときは「RGB (AV HDCP)」を選択します。

「RGB (Scart)」は、[ANALOG IN/OUT (ミニD-sub15ピン)] 端子にSCART 21ピン*ビデオ信号が入力されている場合に選択します。

インプット 2 ☞ 18ページ

「RGB」を選択します。

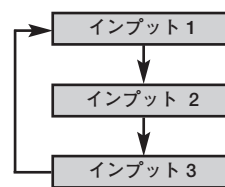
ANALOG IN/OUT端子を モニター出力として使う

「インプット 1」の中で「モニター出力」を選択します。
[INPUT 2] に入力したRGB信号が出力されます。

また、[AUDIO IN/OUT] 端子からは音声信号が出力されます。

* SCART 21ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子のRGB出力をプロジェクターで見るとは、ビデオ機器のSCART 21ピン端子とプロジェクターの [ANALOG IN/OUT] を専用のケーブルで接続します。[ANALOG IN/OUT] で再生されるRGB SCART信号は、480i、575iのRGB信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

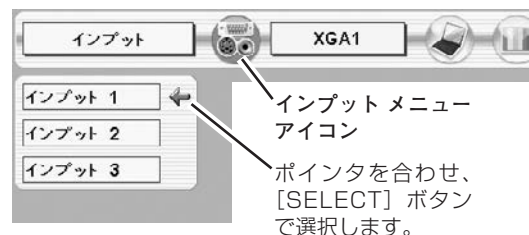
INPUT ボタン



[INPUT] ボタンを押すごとに切り換わります。

※表示は約4秒間出ます。

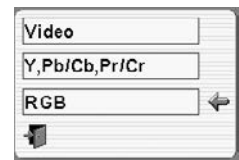
インプットメニュー



インプット1



インプット2



信号形式選択メニュー

ポインタを入力信号の種類に合わせ、[SELECT] ボタンを押して選択します。

コンピュータシステムの選択

システムモードが自動選択されます

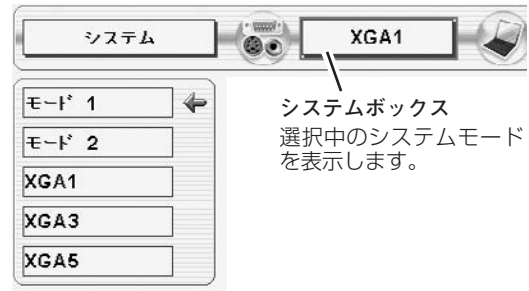
(マルチ スキャン システム)

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード (VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・) を自動で選択しますので、ふだん特別な操作をせずにコンピュータ画面を投映することができます。☞34～36 ページ

選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。

※ システムボックスに、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムメニュー



● システムボックスに表示されるメッセージ ●

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動PC調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投映されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。
☞35、36 ページ

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。☞17～19ページ
コンピュータの入力信号がデジタルの場合、以下の表示が出ます。☞60ページ

D-VGA ・ D-SVGA ・ D-XGA

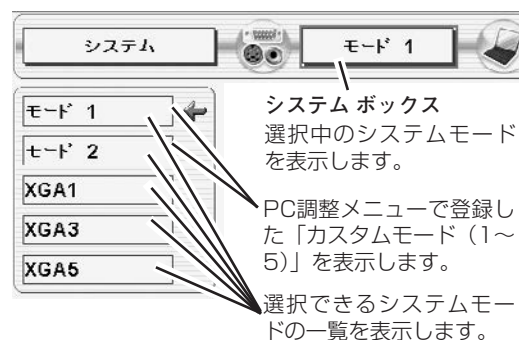
システムモードをマニュアルで選択するとき

カスタムモード*を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でポインタを選択するモードに合わせ、[SELECT] ボタンを押します。

* カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。☞35、36ページ

システムメニュー



コンピュータシステムの調整

自動PC調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」の3項目を自動調整することができます。

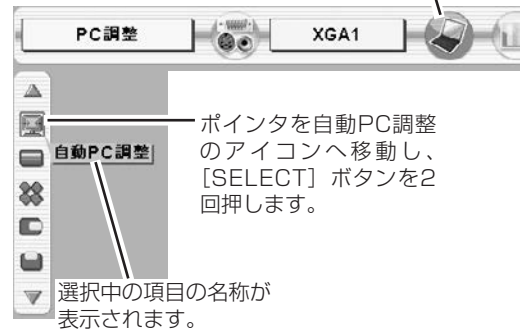
自動PC調整

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「PC調整メニュー」のアイコンに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でポインタを「自動PC調整」のアイコンに合わせ、[SELECT] ボタンを押すとPC調整画面が出ますので、[SELECT] ボタンをもう一度押して自動調整してください。
自動PC調整機能は、リモコンまたは操作パネルの[AUTO PC ADJ.] ボタンではたらかまず。

- ※ 自動PC調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」を完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。P.35、36ページ 自動調整した内容を一度登録しておく、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、36ページの「マニュアルPC調整の手順3」をごらんください。
- ※ コンピュータからの入力信号がデジタルの場合や、システムメニューで480p、575p、480i、575i、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、自動PC調整機能ははたらかまず。

PC調整メニュー

PC調整メニュー
アイコン



マニュアルPC調整 (カスタムモードを登録する)

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーのシステムボックスに「Auto」と表示され、画像が正しく投射されないときは、「PC調整」メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」に登録してください。登録した「カスタムモード」は、「システム」メニューで選択できます。「カスタムモード」は5つまで登録することができます。

※ コンピュータからの入力信号がデジタルの場合は、「PC調整」メニューは機能しません。

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタン左右でポインタを「PC調整」メニューのアイコンに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でポインタを調整する項目のアイコンに合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行ないます。
※「画面領域 H と V」は、[ポイント] ボタンで調整後 [SELECT] ボタンを押して調整値を決定する必要があります。

トラッキング

トラッキング (同期) がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。(0から31まで)
※コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

クランプ

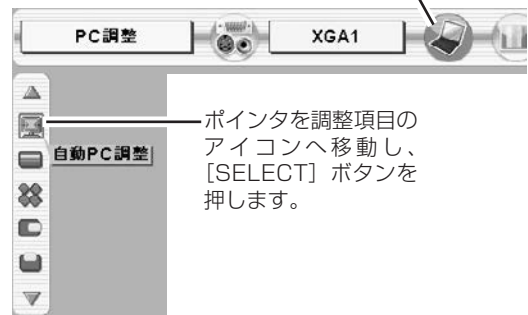
クランプ位置を調整します。

画面領域

あらかじめ近い解像度に調整するときに使います。

PC調整メニュー

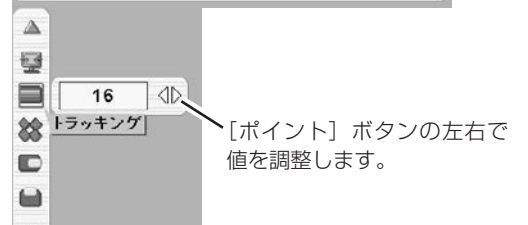
PC調整メニューアイコン



カスタムモードの登録状況 (データあり/データなし) を表示します。



[ポイント] ボタンの左右で値を調整します。



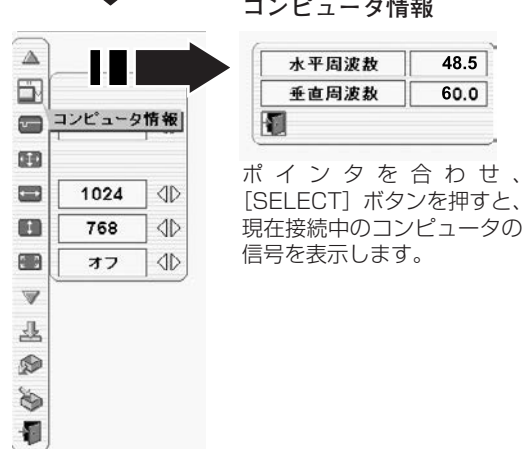
ポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、さらに詳しい調整ができます。



コンピュータ情報

水平周波数	48.5
垂直周波数	60.0

ポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、現在接続中のコンピュータの信号を表示します。



画面領域 H

水平解像度を調整します。[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

※「画面領域 H」は、[ポイント] ボタンで調整後 [SELECT] ボタンを押して調整値を決定する必要があります。

画面領域 V

垂直解像度を調整します。[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※「画面領域 V」は、[ポイント] ボタンで調整後 [SELECT] ボタンを押して調整値を決定する必要があります。

フルスクリーン

オン・・・横4：縦3のフルスクリーンサイズで投射します。

オフ・・・オリジナルの画像の縦横比で投射します。

※ システムメニューで480p、575p、480i、575i、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、「トラッキング」「画面領域」「画面領域 H」「画面領域 V」「フルスクリーン」の調整はできません。

※ セッティングメニューで「アナモフィック」を「オン」にしているときは「フルスクリーン」の調整はできません。

3 メモリー

ポインタをメモリーアイコンに合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「PC調整データ登録」メニューが現われます。登録したいモード (モード 1 から 5 までのいずれか) にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。

データ消去

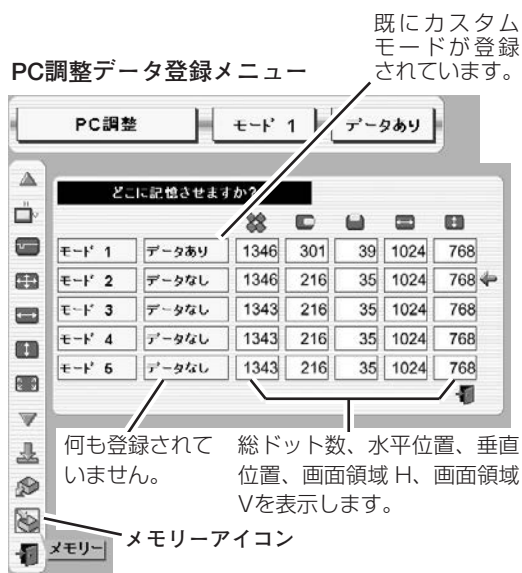
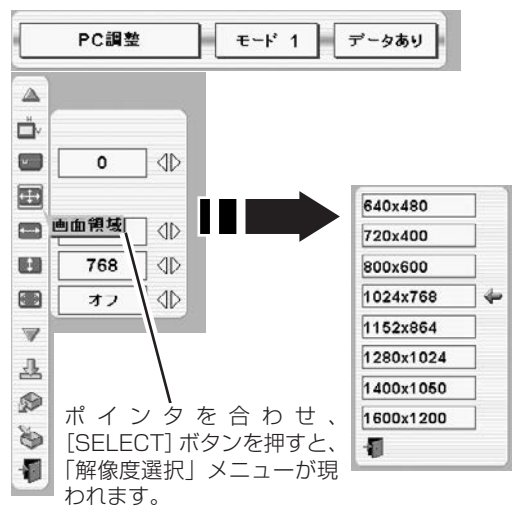
ポインタをデータ消去アイコンに合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「PC調整データ消去」メニューが現われます。消去したいモードにポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。

リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

戻る

メニューを終了します。



PC調整データ消去メニュー



イメージモードの選択

IMAGEボタンでイメージモードを選択する

リモコンまたは操作パネルの [IMAGE] ボタンを押すごとに、イメージモードが「標準」「リアル」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り換わります。

標準

このモードは階調や明るさのバランスがとれた標準的な設定です。

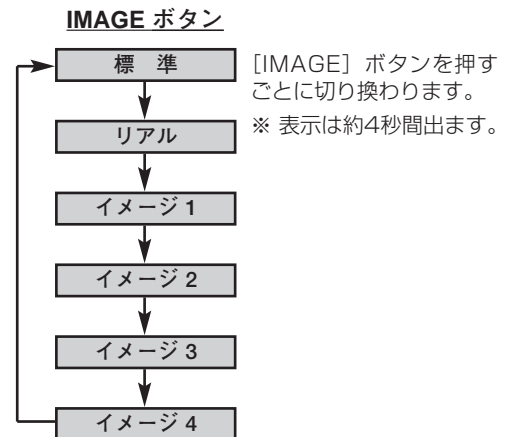
「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「カラーマネージメント」「自動画質補正」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時の設定になります。

リアル

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

イメージ 1~4

「イメージ調整」メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。☞ 43~45ページ



イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタをイメージ選択メニューのアイコンに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でポインタをお好みのイメージモードに合わせ、[SELECT] ボタンで選びます。



標準

このモードは階調や明るさのバランスがとれた標準的な設定です。

「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「カラーマネージメント」「自動画質補正」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時の設定になります。



リアル

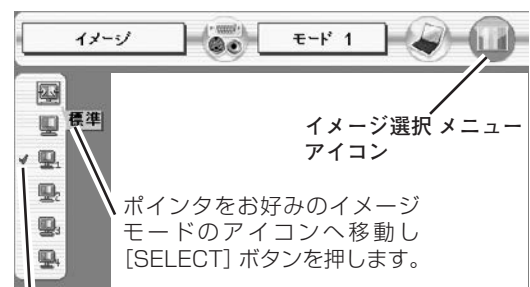
このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。



イメージ 1~4

「イメージ調整」メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。☞ 43~45ページ

イメージ選択メニュー



イメージ選択メニューアイコン

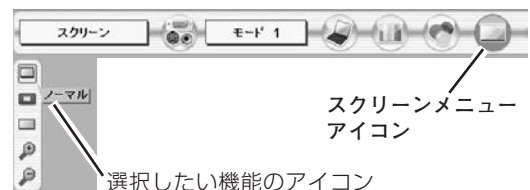
選択中のイメージモード

適切な画像サイズに調整する

本機の液晶パネルは1024x768ドットです。お好みにより、画像サイズや水平スケールを変えることができます。

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「スクリーン」メニューのアイコンに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でポインタを選択したい機能のアイコンに合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。

スクリーンメニュー



選択したい機能のアイコンにポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。



ノーマル

画像を有効投映画面（1024x768ドット）の高さに合わせて投映します。



リアル

画像をオリジナルサイズで投映します。画像サイズが有効投映画面（1024x768ドット）よりも大きいときは、自動的に「デジタルズーム +」モードに入ります。



ワイド

画像を有効投映画面（1024x768ドット）の幅に合わせ、横16：縦9のワイド画面で投映します。



デジタルズーム +

「デジタルズーム +」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom +」表示が現われます。

[SELECT] ボタンを押すごとに画像が拡大します。

[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。

画像の移動機能は、画像サイズが有効投映画面（1024x768ドット）よりも大きいときのみはたります。

リモコンの [D.ZOOM ▲] ボタンで画像の拡大ができます。



デジタルズーム -

「デジタルズーム -」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom -」表示が現われます。

[SELECT] ボタンを押すごとに画像が縮小します。

リモコンの [D.ZOOM ▼] ボタンで画像の縮小ができます。

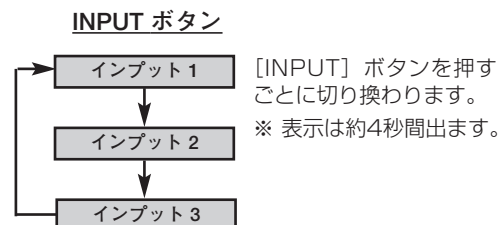
- ※ 「デジタルズーム」モードから抜けるときは、[D.ZOOM、SELECT、ポイント、LASER、リモコンの左クリック、ドラッグ] 以外のボタンを押します。
- ※ システムメニューで720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、「スクリーン」メニューは機能しません。
- ※ システムメニューで480p、575p、480i、575iのシステムモードが選択されているときは、「リアル」と「デジタルズーム +/ -」は選択できません。
- ※ 本機はSXGA（1280x1024ドット）を超える解像度には対応しておりません。お使いのコンピュータの解像度がSXGA（1280x1024ドット）を超える場合は、プロジェクターに接続する前に低い解像度に再設定してください。
- ※ XGA（1024x768ドット）以外の画像データは、有効投映画面（1024x768ドット）に合うように自動的に画像サイズが変換されます。（「ノーマル」、「ワイド」選択時）
- ※ 「PC調整」メニューでマニュアル調整したカスタムモードをコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム +」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらないことがあります。

ビデオ入力に切り換える

ダイレクトボタンで入力を切り換える

リモコンの [INPUT2、INPUT 3] ボタン、または操作パネルの [INPUT] ボタンを押して、「インプット 2」または「インプット 3」を選択します。

※ 正しい入力信号が選択されないときは、「インプット」メニュー（☞ 下記）で正しい入力信号を選んでください。



インプットメニューで入力を切り換える

1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューのアイコンに合わせます。

2 [ポイント] ボタン下でポインタを信号が入力された端子（「インプット 2」または「インプット 3」）に合わせ、[SELECT] ボタンで選択すると信号選択メニューが現われます。

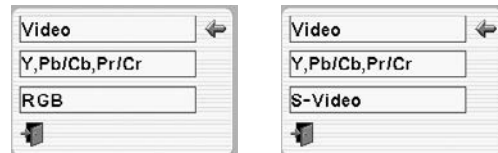
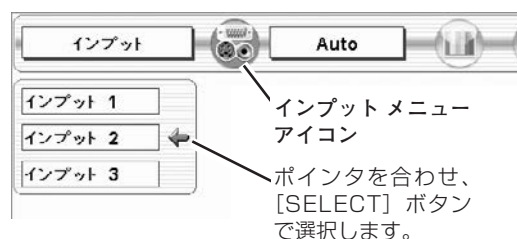
※ 「インプット 1」はコンピュータ入力時に使用します。

3 ポインタを入力信号の種類に合わせ、[SELECT] ボタンで選んでください。☞ 19ページ

※ [INPUT 2] のBNC入力端子 (VIDEO/Y,Pb/Cb,Pr/Cr) に接続したコンポジット映像信号 (Video) またはコンポーネント映像信号 (Y,Pb/Cb,Pr/Cr) を選択するときは、「Video」または「Y,Pb/Cb,Pr/Cr」のいずれかを選んでください。

※ [INPUT 3] のRCA入力端子 (VIDEO/Y,Pb/Cb,Pr/Cr) またはS-VIDEO端子に接続した、コンポジット映像信号 (Video)、コンポーネント映像信号 (Y,Pb/Cb,Pr/Cr) またはS-VIDEO信号を選択するときは、「Video」「Y,Pb/Cb,Pr/Cr」「S-Video」の中から正しい信号形式を選んでください。

インプットメニュー



信号選択メニュー (ビデオ)

ポインタを入力信号の種類に合わせ、[SELECT] ボタンで選んでください。

カラーシステムや走査方式を選択する

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「システムボックス」に合わせます。
- 2 ポインタを希望するカラーシステムまたは走査方式に合わせて、[SELECT] ボタンで選んでください。

VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

Auto (自動)

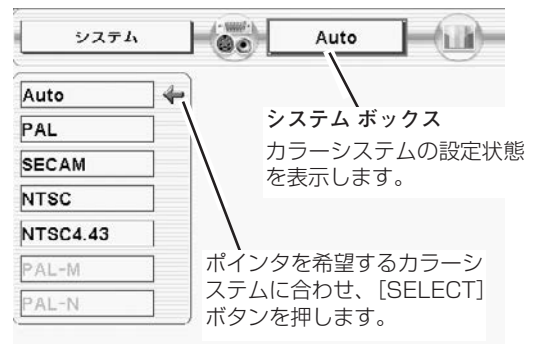
入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。

※「PAL-M」と「PAL-N」は、「Auto」に設定しても、システムは自動で選択されません。ポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押して選んでください。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムはNTSCです。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

システムメニュー
(コンポジット映像またはS映像入力時)



Y, Pb/Cb, Pr/Cr 端子入力選択時

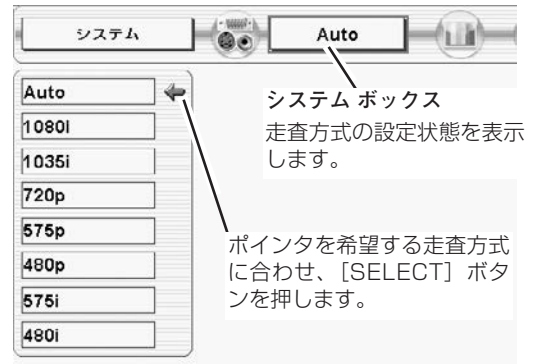
Auto (自動)

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、「1080i、1035i、720p、575p、480p、575i、480i」の中から正しい走査方式を選んでください。

システムメニュー (コンポーネント映像入力時)



イメージモードの選択

[IMAGE] ボタンでイメージモードを選択する

リモコンまたは操作パネルの [IMAGE] ボタンを押すごとに、イメージモードが「標準」「シネマ」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り換わります。

標準

このモードは階調や明るさのバランスがとれた標準的な設定です。

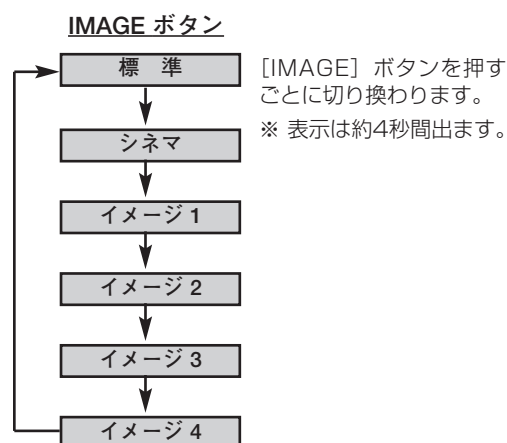
「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「カラーマネージメント」「自動画質補正」「色温度」「ホワイトバランス（赤/緑/青）」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時の設定になります。

シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

イメージ 1~4

「イメージ調整」メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。☞ 43~45ページ



イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「イメージ選択」メニューのアイコンに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でポインタをお好みのイメージモードに合わせ、[SELECT] ボタンで選びます。

標準

このモードは階調や明るさのバランスがとれた標準的な設定です。

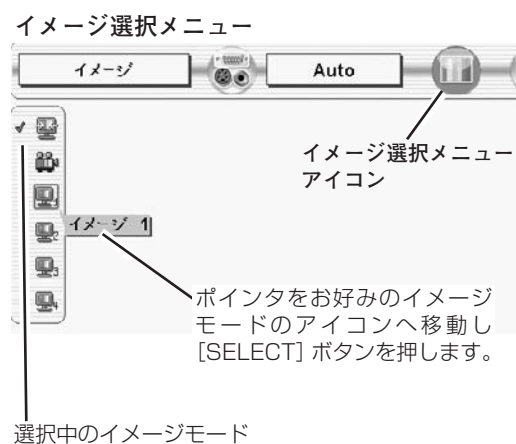
「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「カラーマネージメント」「自動画質補正」「色温度」「ホワイトバランス（赤/緑/青）」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時の設定になります。

シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

イメージ 1~4

「イメージ調整」メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。☞ 43~45ページ



画面のサイズを選択する

お好みにより、画面サイズを2種類の中から選択できます。

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「スクリーン」メニューのアイコンに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でポインタを選択したい機能のアイコンに合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。



ノーマル

通常の映像のアスペクト比（横：縦）4：3で投映します。



ワイド

DVDプレーヤー等のワイドモードで出力された映像信号をアスペクト比16：9のワイド画面で投映します。

※ 「システム」メニューで1080i、1035iまたは720pの信号（アスペクト比16：9）が選択されているときは、「スクリーン」メニューは機能しません。☞ 40ページ

スクリーンメニュー



ポインタを選択したい機能のアイコンに合わせ、[SELECT] ボタンを押します。

マニュアルでイメージ調整を行なう

マニュアルでのイメージ調整は、コンピュータ入力、ビデオ入力、いずれでも行なうことができます。

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「イメージ調整」メニューのアイコンに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でポインタを調整したい項目のアイコンに合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右などで行ないます。
- 3 調整した内容を記憶します。

メモリー

ポインタをメモリーアイコンに合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「イメージ調整データ登録」メニューが現われます。登録したいイメージモード（イメージ 1 から 4 までのいずれか）にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押して登録します。

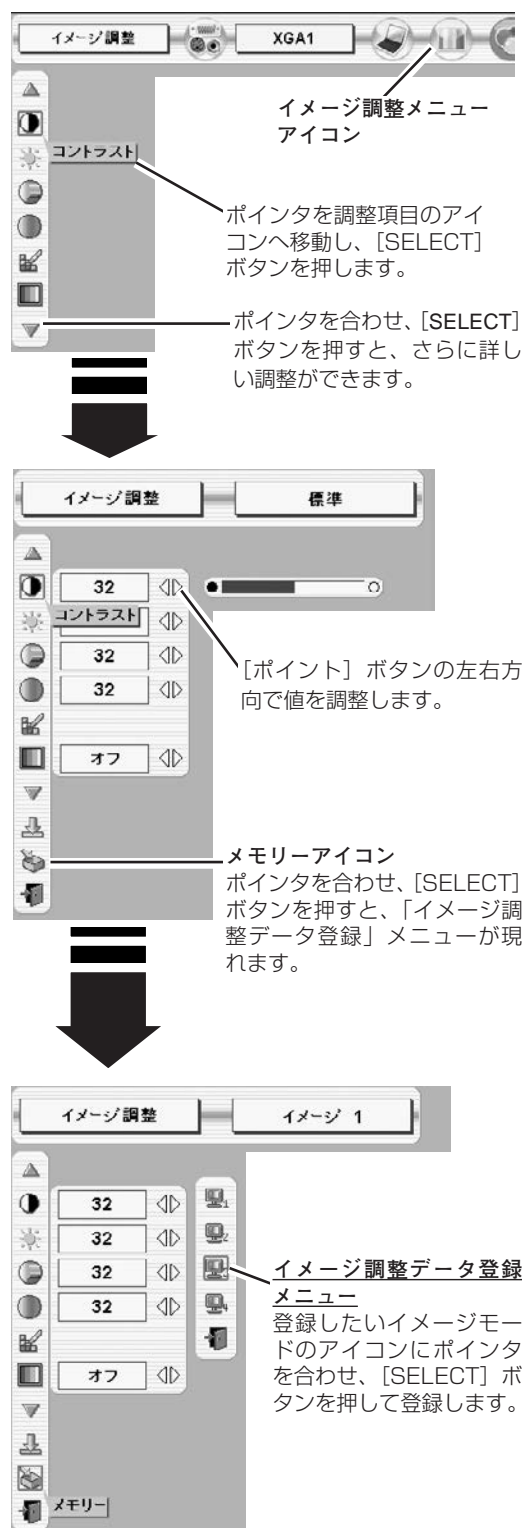
リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

戻る

メニューを終了します。

イメージ調整メニュー



各項目の調整

コントラスト

[ポイント] ボタン左でコントラストが薄くなり、[ポイント] ボタン右でコントラストが濃くなります。(0 から 63 まで)

明るさ

[ポイント] ボタン左で映像が暗くなり、[ポイント] ボタン右で映像が明るくなります。(0 から 63 まで)

色の濃さ *

[ポイント] ボタンの左で色が薄くなり、[ポイント] ボタンの右で色が濃くなります。(0 から 63 まで)

色合い *

[ポイント] ボタン左で色が紫がかり、[ポイント] ボタン右で色が緑がかります。(0 から 63 まで)

※ カラーシステムが「PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N」のときは、「色合い」の調整はできません。☞ 40ページ

カラーマネージメント

投射している画像の色を、お好みの色に調整します。

- 1 [SELECT] ボタンを押すと画像が静止して、無色のカーソルが画面中央に表示されます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下左右でカーソルを調整したい色の上に移動させ、[SELECT] ボタンを押すと、「COLOR SELECTION」メニューが現れます。
- 3 [ポイント] ボタンの上下左右でカーソルを「COLOR」の中を移動させ、調整後に表示させたい色を選択し [SELECT] ボタンを押します。自動的に「GAMMA」調整に移動します。
- 4 [ポイント] ボタンの上下で、調整後に表示させたい色を選択し [SELECT] ボタンを押します。自動的に「LIST」ボタンに移動します。

LIST 「COLOR MANAGEMENT LIST」が表示されます。

CANCEL 調整を中止し無色のカーソルの表示まで戻ります。

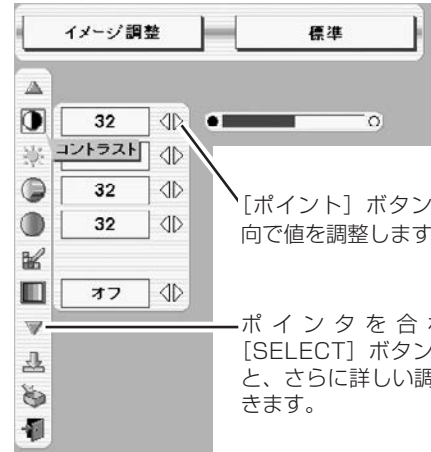
QUIT カラーマネージメントモードから抜けます。

- 5 「LIST」ボタンを押すと「COLOR MANAGEMENT LIST」が表示され、調整した色を保存することができます。

ALL DEL 保存されたすべてのリストが削除されます。

MENU 「COLOR MANAGEMENT」から抜け、「イメージ調整」メニューまで戻ります。

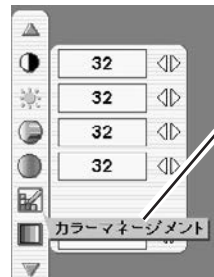
COLOR M. 調整を保存し、新たに無色のカーソルを表示され、調整を続けることができます。



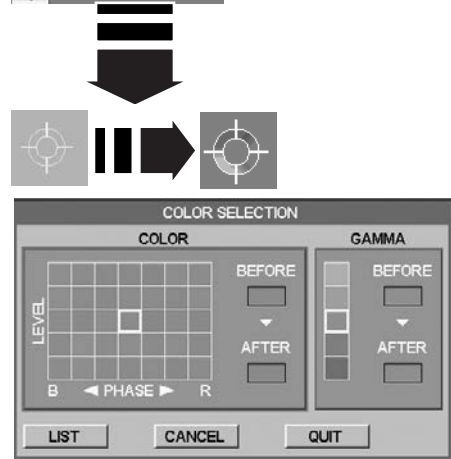
[ポイント] ボタンの左右方向で値を調整します。

ポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、さらに詳しい調整ができます。

カラーマネージメント

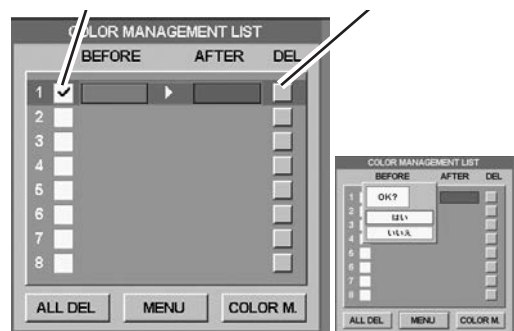


ポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押し、調整メニューに入ります。



[ポイント] ボタン左で選択し [SELECT] ボタンを押すとチェックが外れます。

[ポイント] ボタン右で選択し [SELECT] ボタンを押すと削除できます。



PCとビデオで合計8件の保存ができます。

自動画質補正

映像の暗い部分のコントラストを強調します。
 [ポイント] ボタン右で、**オフ** → **L1** → **L2** の順でより強く強調されます。
 ※ 工場出荷時は **L1** に設定されています。

色温度

[ポイント] ボタンの左右でお好みの色温度（**超低**—**低**—**中**—**高**）を選択します。
 ※ この設定をするとホワイトバランスの調整値も変化します。

RGB ホワイトバランス（赤・緑・青）

[ポイント] ボタン左で各色調は薄くなり、[ポイント] ボタン右で各色調は濃くなります。（各色 0 から 63 まで）
 ※ この設定をすると色温度の表示が「調整中」になります。

画質 *

[ポイント] ボタン左で映像がやわらかくなり、[ポイント] ボタンの右で映像がくっきりとなります。（0 から 31 まで）

ガンマ補正

[ポイント] ボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。（0 から 15 まで）

ノイズリダクション *

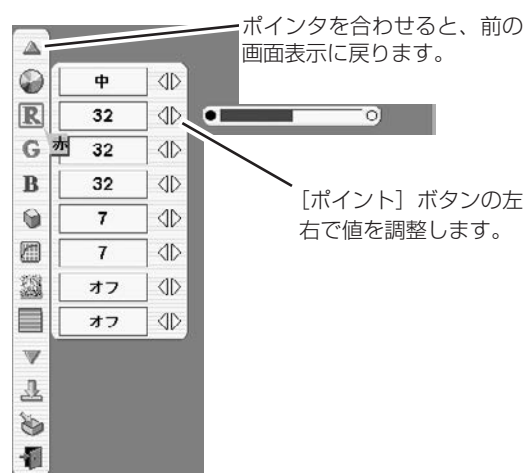
- オン** . . . 古いビデオやノイズの多い映像を見るとき「オン」にすると、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。
- オフ** . . . ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

プログレッシブ *

- オフ** . . . 動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。
- L1** . . . 「プログレッシブ スキャン」をONにします。（動画のとき）
- L2** . . . 「プログレッシブ スキャン」をONにします。（静止画のとき）

※ システムメニューで480p、575p、720pの信号を選択しているときは、「プログレッシブ」の選択はできません。

* コンピュータ入力で、RGB（アナログ）、RGB（デジタル）、RGB（HDCP）の信号を選択しているとき、以下のメニューは調整できません。
 「色の濃さ」「色合い」「画質」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」



各種セッティング

各種セッティング

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右方向でポインタを「セッティング」メニューのアイコンに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン下でポインタを設定する項目のアイコンに合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。選んだ項目の設定画面が現われます。



言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語の12か国語の中から選べます。



ランプモード

「ノーマルモード、オート、エコモード」の選択ができます。「エコモード」は、ランプの消費電力を抑えることができます。



明るい表示・・・ノーマルモード



明るい表示に「A」・・・オート



上部がグレーの表示・・・エコモード

- ※ [ポイント] ボタン右で → → の順に表示が切り換わります。
- ※ 「AUTO (オート)」は調光回路が働いて、明るさを自動的に調整します。
- ※ 「エコモード」の明るさは、「ノーマルモード」の約80%です。
- ※ 工場出荷時は「オート」に設定されています。



キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。[ポイント] ボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。

メモリー・・・キーストーン調整で補正した内容は、電源コードを抜いても記憶されます。

リセット・・・キーストーン調整で補正した内容は、電源コードを抜くとリセットされます。

- ※ キーストーン調整の詳細は、28ページをご覧ください。



アスペクトV

垂直のスケールおよび位置を調整します。[ポイント] ボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。

メモリー・・・調整した内容は、電源コードを抜いても記憶されます。

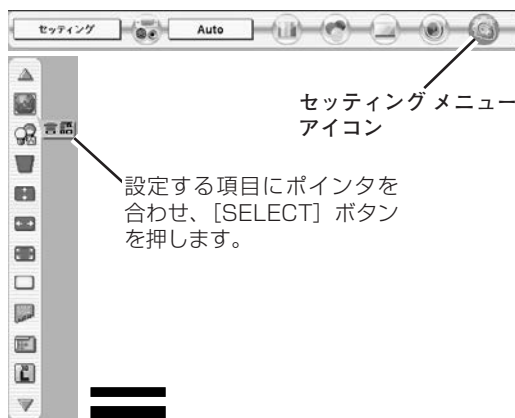
リセット・・・調整した内容は、電源コードを抜くとリセットされます。もう一度 [SELECT] ボタンを押すと、「アスペクトV」調整モードに入ります。左右キーで [ポイント] ボタンを移動し、「スケール、ポジション」の調整したい方を選択し、上下キーで数値を調整します。

- ※ 無信号時は調整できません。

*注

「アスペクトV」を調整した後、キーストーン調整を行なうと、調整した内容がリセットされ標準に戻ります。「アスペクトV」の調整はキーストーン調整の後に行なってください。

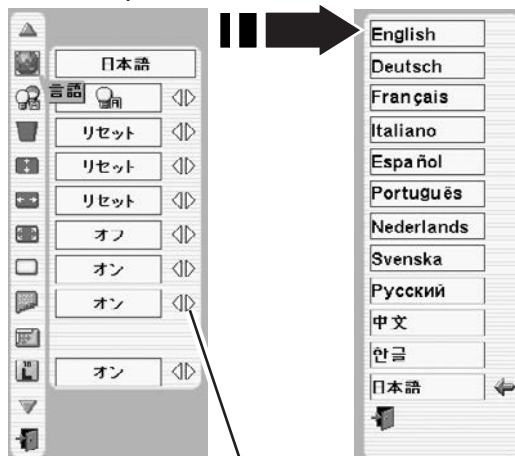
セッティングメニュー



セッティングメニューアイコン

設定する項目にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。

言語のアイコンを選択すると言語メニューが現われます。



選択したい項目にポインタを合わせ、[ポイント] ボタンの左右で設定します。



[ポイント] ボタンの上下で調整します。

「スケール」、「ポジション」の選択は [ポイント] ボタンの左右で行ないます。

←→ アスペクトH

水平のスケールおよび位置を調整します。[ポイント] ボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。

メモリー・・・調整した内容は、電源コードを抜いても記憶されます。
リセット・・・調整した内容は、電源コードを抜くとリセットされます。
もう一度 [SELECT] ボタンを押すと、「アスペクトH」調整モードに入ります。左右キーで [ポイント] ボタンを移動し、「スケール、ポジション」の調整したい方を選択し、上下キーで数値を調整します。

※ 無信号時は調整できません。

***注**

「アスペクトH」を調整した後、キーストーン調整を行なうと、調整した内容がリセットされ標準に戻ります。「アスペクトH」の調整はキーストーン調整の後に行なってください。



「スケール」、「ポジション」の選択は [ポイント] ボタンの左右で行ないます。

アナモフィック

この機能を「オン」にすると入力信号が4：3の画面以外でも、強制的に4：3の画面で投映されます。

ブルーバック

信号のないときにブルーの画面にする機能です。この機能を「オン」にすると、画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずにブルーの画面を映します。

オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

オン・・・すべての画面表示を出します。

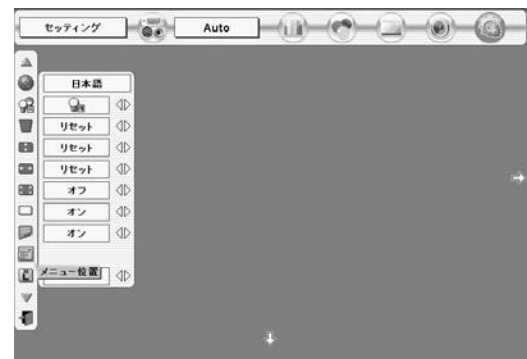
オフ・・・以下の画面表示以外は出しません。

- ・メニューバー表示 ㊦ 24ページ
- ・電源を切るときの「もう一度押しと電源が切れます」の表示
- ・P-TIMER表示 ㊦ 30 ページ
- ・自動PC調整時に「しばらくお待ちください」の表示
- ・パワーマネージメント時のタイマー表示 ㊦ 48ページ

メニュー位置

メニューが表示される位置を調整する機能です。[ポイント] ボタン右、下でお好みの位置に表示させることができます。

表示画面



ロゴ

この機能を「オフ」にすると、電源を入れたときのロゴ表示を画面に出しません。

天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに使います。

※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投映するときに使います。

パワーマネジメント

パワーマネジメント機能の動作設定を行ないます。
オフ・・・パワーマネジメント機能を解除します。
待機・・・設定された時間が経つとランプが消灯しランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了すると[READY]インジケータが点滅を始めます。この時信号が入力されたり、プロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。
シャットダウン・・・設定された時間が経つとランプが消灯し電源が切れます。

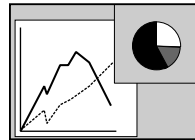
●タイマーの設定●
 [ポイント] ボタンの左右でパワーマネジメント機能が動作を開始するまでの時間を設定します。1～30分の範囲で設定できます。
 パワーマネジメント動作の詳細は26ページを参照ください。
 ※ 工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。

オンスタート

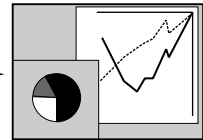
電源コードを接続すると、リモコンや操作パネルの[ON-OFF]ボタンを押さなくても自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。
オン・・・電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。
オフ・・・通常の電源の入り・切りを行ないます。電源コードを接続しても、リモコンまたは操作パネルの[ON-OFF]ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。
 ※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

天吊り機能

オフ (通常の画像)

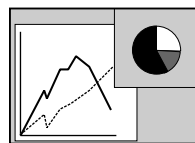


オン (天吊り設定時)

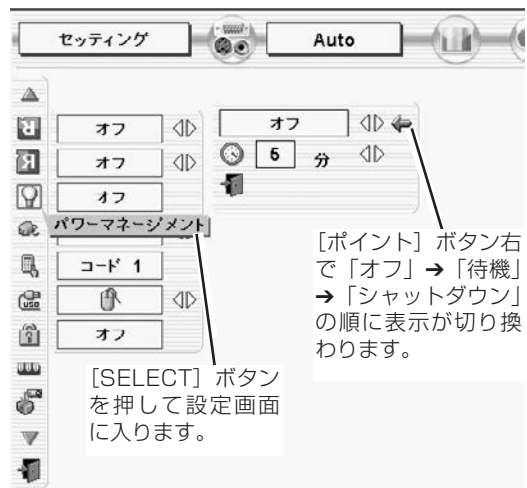
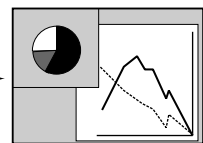


リア投映機能

オフ (通常の画像)



オン (リア投映設定時)



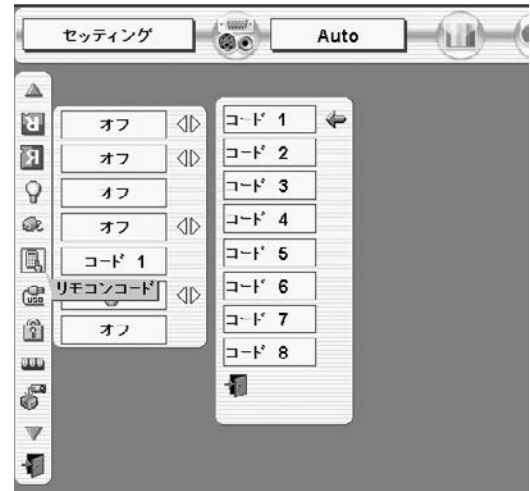
入力信号なし

04:50

↑
ランプ消灯までの時間



リモコンコード

本機は8種類のリモコンコード（「コード1」～「コード8」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときに、リモコンコードを使い分けて使用することができます。工場出荷時は「コード1」に設定されています。リモコンコードを他のコード（「コード2」～「コード8」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換える必要があります。プロジェクターのリモコンコードを切り換えるにはメニューの「リモコンコード」を選択し、設定するリモコンコードを選択します。リモコンのコードの切り替えは、リモコンの電池カバー内にあるディップスイッチで行ないます。（P21ページ「ディップスイッチの設定」）

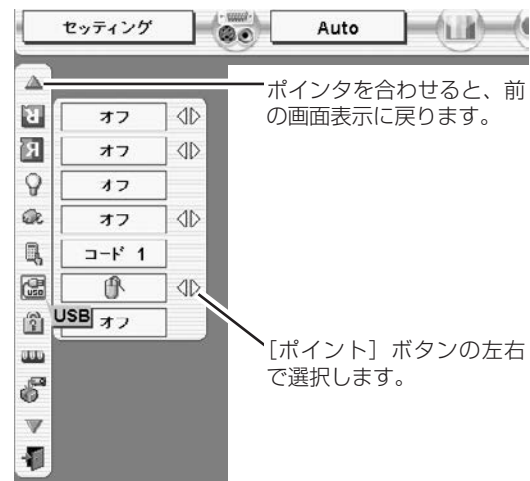


USB

本機の [USB] 端子にコンピュータのUSB端子を接続し、コンピュータと連結してプロジェクターを使用するときのUSB端子の機能選択を行ないます。[ポイント] ボタンで機能の選択を行ないます。



- 
 ... 本機のリモコンをコンピュータのマウスとして使用するときを選択します。
- 
 ... USB端子をプロジェクターの制御などに使用するときを選択します。
この機能は将来のために設けられているものです。
現時点ではご使用になれません。

※ 工場出荷時は「マウス」に設定されています。



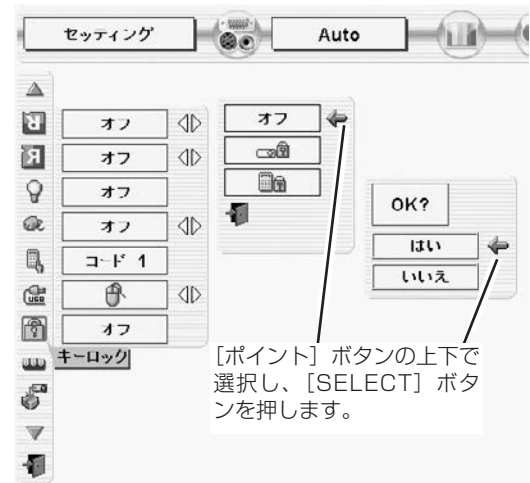
キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

- オフ ... キーロックを解除します。
- 
 ... 操作パネルからの操作をロックします。
- 
 ... リモコンの操作をロックします。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

※ 操作パネルをロックしてしまい、手元にリモコンがないときは、一度電源コードを抜いて、[SELECT] ボタンを押しながら、電源コードをさすと、キーロックが解除されます。



ランプカウンターリセット

ランプカウンターをリセットするメニューです。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると[LAMP REPLACE] インジケータ(黄)の点灯が消えます。



注意

ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

- 1 [ポイント] ボタン上下でポインタを「ランプカウンターリセット」のアイコンに合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
- 2 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、[ポイント] ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
- 3 さらに、「OK？」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

初期設定

ランプカウンター（点灯時間）以外の設定を工場出荷状態に戻します。

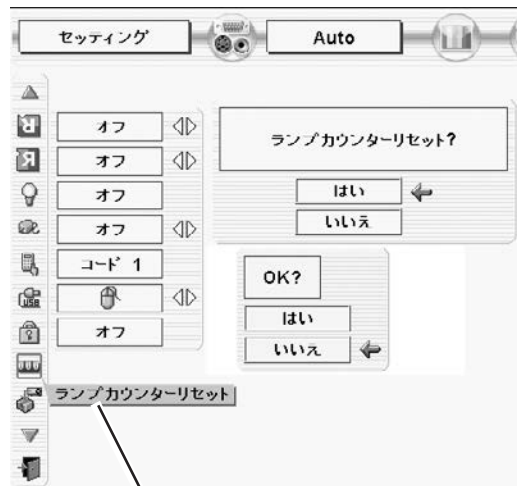
※ この設定は電源・主電源を切っても有効です。

●ご注意●

この設定が実行されると、お客さまが設定されていた内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

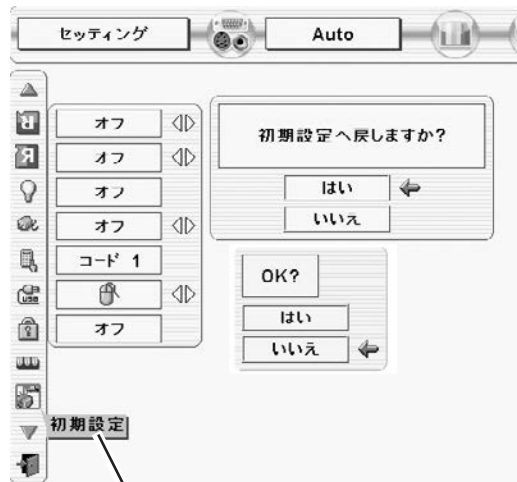
- 1 [ポイント] ボタン上下で「初期設定」のアイコンにポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
- 2 「初期設定へ戻しますか？」が現われますので、[ポイント] ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。
- 3 さらに、「OK？」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。設定が工場出荷時に戻ります。

ランプカウンターリセット



「ランプカウンターリセット」のアイコンにポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押すと「ランプカウンターリセット？」の表示が現われます。

初期設定



「初期設定」のアイコンにポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押すと「初期設定へ戻しますか？」の表示が現われます。

リモコンでコンピュータを操作する

付属のリモコンはコンピュータのワイヤレスマウスとしてお使いいただけます。コンピュータマウスの代わりにリモコンでポインタを操作することができます。

準備をしてください

リモコンをワイヤレスマウスとして使用するには、マウスドライバが必要です。お使いのコンピュータにマウスドライバがインストールされていることを確認してください。

また、はじめにコンピュータの環境設定でマウスポート^{※注1}が、マウスコントロールケーブル（付属または別売）を接続するポートに設定してあることを確認してください。

- 1 付属または別売のマウスコントロールケーブルで、コンピュータのマウスポート（または USB ポート）と、本機の [CONTROL PORT] 端子（または [USB] 端子）を接続します。^{※注2} ㊦ 18ページ
- 2 マウスコントロールケーブルを接続したら、はじめにプロジェクターの電源を入れてからコンピュータの電源を立ち上げてください。先にコンピュータの電源を立ち上げると正しく動作しない場合があります。

※注1：マウスポートは、コンピュータのマウスを接続する端子です。設定のしかたは、お使いになるコンピュータの説明書を参照してください。

※注2：一部のコンピュータでマウスポートのないものは、シリアル用マウスコントロールケーブルを使ってシリアルポートに接続します。

USB端子付きのコンピュータでUSBマウスをお使いの場合は、付属のUSBケーブルでコンピュータと本機の [USB] 端子を接続します。

マウスポインタの動かし方

マウスポインタの操作は、リモコンの「ポイントボタン」「左クリックボタン」「右クリックボタン」で行ないます。

ポイントボタン

マウスポインタの移動を行ないます。[ポイント] ボタンの上下左右を押すと、マウスポインタが移動します。

左クリック ボタン

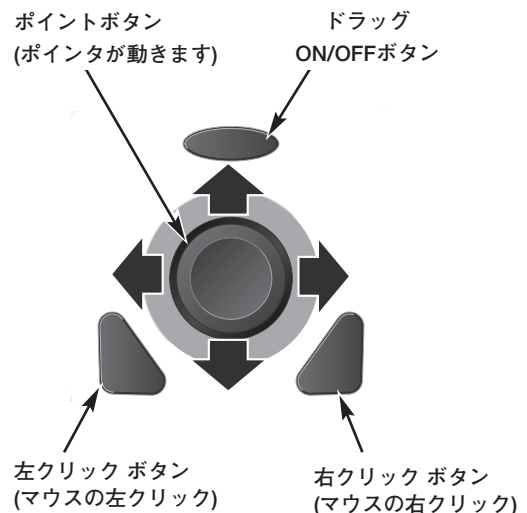
コンピュータマウスの左クリックのはたらきをします。ドラッグするときには、このボタンを押したまま [ポイント] ボタンで移動させます。

右クリック ボタン

コンピュータマウスの右クリックのはたらきをします。

ドラッグ ON / OFF ボタン

ドラッグしたい画像にマウスポインタをあわせ、[ドラッグ ON/OFF] ボタンを押します。（[ドラッグオン] インジケータが緑に点灯し、ドラッグ機能が「ON」の状態になります）[ポイント] ボタンを使って、画像を移動させます。再度 [ドラッグ ON/OFF] ボタンを押すか、他のボタンを押してドラッグ機能を解除します。



ランプの交換

LAMP REPLACEインジケータの点灯

[LAMP REPLACE] インジケータ（黄）の点灯は、ランプ交換時期の目安です。[LAMP REPLACE] インジケータ（黄）が点灯した場合は、ランプをすみやかに交換してください。ランプカウンターをリセットするまで電源「ON」（入）のときに点灯します。なお [LAMP REPLACE] インジケータが点灯する前にランプの寿命が尽きる場合もあります。

ランプの交換のしかた

ランプを交換するときは必ず指定の交換ランプをご使用ください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

- ・交換ランプの品番：POA-LMP81（サービス部品コード：610 314 9127）
- ・プロジェクターの品番：LP-XP56

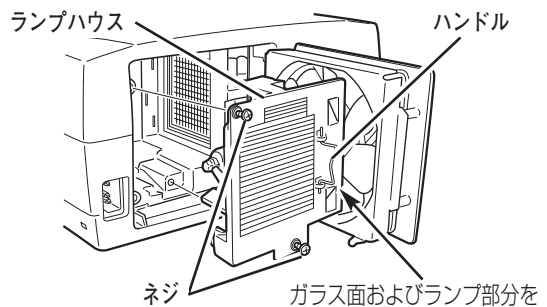
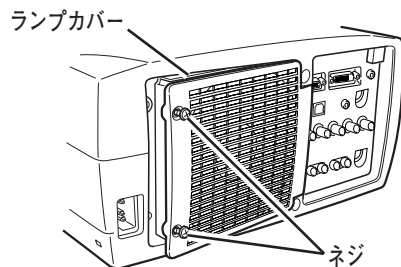


注意

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをする恐れがあります。

- 1 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず45分以上放置してください。
- 2 (+)ドライバーで2本ネジをゆるめて、ランプカバーを開けます。
- 3 ランプハウスの2本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。
- 4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2本のネジを締めて固定します。
- 5 ランプカバーを閉め、ネジを締めて固定します。

- ※ ランプに衝撃を加えたり傷つけたりすると、使用中に破裂する場合がありますので、注意してお取り扱いください。
- ※ 使用済みランプの再利用はランプ破裂の原因となりますのでおやめください。



ガラス面およびランプ部分を
手で触らないでください。

「ランプカウンター」をリセットします

ランプ交換後は必ず「ランプカウンター」をリセットしてください。リセットすると [LAMP REPLACE] インジケータ（黄）の点灯が消えます。「ランプカウンターのリセット」のしかたは、50ページのランプカウンターリセットの設定を参照ください。

⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP REPLACE] インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行なってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店または修理相談窓口へプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズキャップをはめ、ダストカバーをかぶせて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

● エアフィルターのお手入れ ●

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。（掃除のしかたは次ページを参照）

エアフィルターはこまめに掃除してください

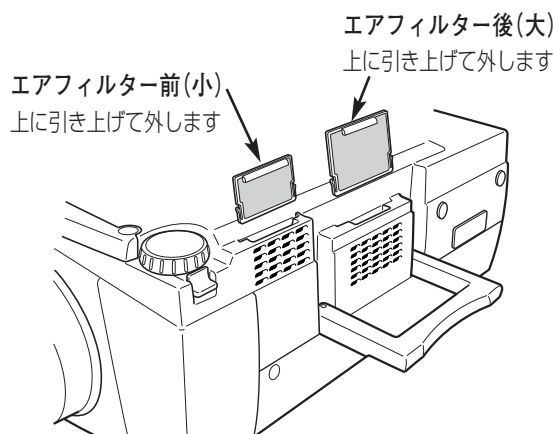
吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障の原因になります。エアフィルターは、こまめに掃除してください。

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行なってください。
- 2 プロジェクターを裏返します。エアフィルターを上へ引き上げて外します。
- 3 エアフィルターのホコリをブラシなどで取ります。
- 4 エアフィルターを取り付けます。

エアフィルターの汚れがひどいときは、水洗いの後よく乾かしてから取り付けてください。取り替え用エアフィルター（別売）は、お買い上げの販売店にご相談ください。

取り替え用 エアフィルター前（小） の品番： 610 303 8780

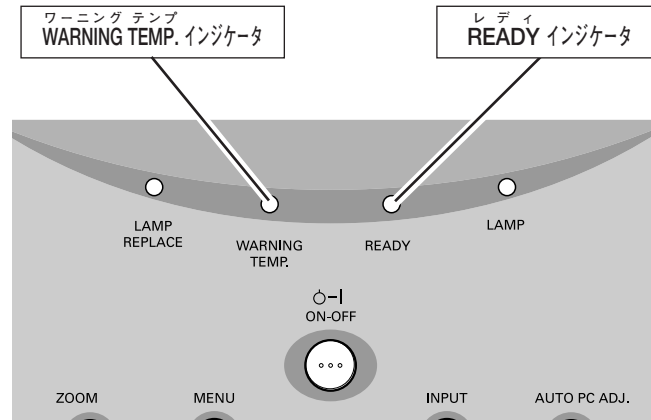
取り替え用 エアフィルター後（大） の品番： 610 303 8773



●お掃除の際にご注意ください●

- ・エアフィルター一部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- ・エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- ・エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

内部の温度上昇について



[WARNING TEMP.] インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると [WARNING TEMP.] インジケータ (赤) が点滅を始め内部温度が高くなっていることをお知らせします。さらに温度が高くなるとプロジェクター保護のために自動的に電源が切れ、[READY] インジケータが消えます。([WARNING TEMP.] インジケータは点滅を続けます) 温度が下がると [READY] インジケータが点灯し、リモコンおよび本体の [ON-OFF] ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると [WARNING TEMP.] インジケータの点滅が消えます。[WARNING TEMP.] インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

[WARNING TEMP.] インジケータが点滅しているとき、ここを確認してください

- 底面のエアフィルターにホコリがたまっていますか。フィルターを掃除してください。
- 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲：5℃～35℃)
- 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

プロジェクターの電源が切れ、[WARNING TEMP.] と [READY] インジケータが点滅しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、[WARNING TEMP.] と [READY] インジケータが点滅を始めます。このとき、リモコンおよび本体の [ON-OFF] ボタンでの電源入り切りはできなくなります。このような時は、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れ直し、プロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れ、[WARNING TEMP.] と [READY] インジケータが点滅する場合、プロジェクターの点検を取扱販売店、または修理相談窓口にご依頼ください。電源コードをコンセントに接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは、下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

インジケータの名称と点灯状態				プロジェクターの状態
LAMP REPLACE 黄	WARNING TEMP. 赤	READY 緑	LAMP 赤	
●	●	●	●	電源コードがコンセントから抜けています。
※	●	○	○	プロジェクターはスタンバイ状態です。[ON-OFF] ボタンを押すと動作します。
※	●	○	●	プロジェクターは正常に動作しています。
※	○ [⋮]	●	○	プロジェクターの内部温度が高くなると [WARNING TEMP.] インジケータが点滅を始めます。さらに温度が高くなると [READY] インジケータが消え、自動的に電源が切れ、電源が入らなくなります。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、[READY] インジケータが点灯し、電源が入られます。 ([WARNING TEMP.] インジケータは点滅したままです。) エアフィルターの点検などを行なってください。
※	○ [⋮]	○	○	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。[ON-OFF] ボタンを押すと、[WARNING TEMP.] インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。
※	●	●	○	ランプの冷却中です。[READY] インジケータが点灯するまで、電源を入れることはできません。
※	○ [⋮]	○ [⋮]	○	プロジェクターの内部に異常が検出されました。[ON-OFF] ボタンを入れても電源は入りません。一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理を修理相談窓口へご依頼ください。点灯したままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。
※	●	○ [⋮]	●	「パワーマネジメントモード」になっています。プロジェクターを操作すると、ランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。

○ ……点灯 ○[⋮] ……点滅 ● ……暗く点灯 ● ……消灯

※ …… [LAMP REPLACE] インジケータが点灯するとランプの寿命です。(正常時は消灯) すみやかにランプを新しいものと交換してください。ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。(50ページ参照)

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、つぎのことをお確かめください。

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードは接続されていますか。 ● 電源は入っていますか。[ON-OFF] ボタンを押してみてください。 ● [READY] インジケータが消えているときは、[ON-OFF] ボタンを押しても電源が入りません。 ● [WARNING TEMP.] インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、[READY] インジケータが消えているときは、[ON-OFF] ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が下がるまでお待ちください。 ● 「キーロック」がはたらいていませんか。リモコンの [ON-OFF] ボタンを押してみてください。 	25、26 56 49
画像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。 ● 電源を入れたあと、約30秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。（「オンスクリン表示・オフ」のときのぞく） ● レンズキャップをとりましたか。 ● コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。 ● 使用温度範囲（5℃～35℃）からはずれていませんか。 ● 「NO SHOW」モードになっていませんか。「NO SHOW」ボタンを押してみてください。 ● コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。 	17～19 25 33、40
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。 ● 音量が最小になっていませんか。[VOLUME +] ボタンを押してみてください。 ● 消音状態になっていませんか。[MUTE] ボタンを押すか、[VOLUME +] ボタンを押してみてください。 ● [AUDIO OUT] 端子にプラグがささっていませんか。[AUDIO OUT] 端子にプラグがささっていると内蔵スピーカーから音は出ません。 ● 抵抗内蔵のオーディオケーブルを使用していませんか。抵抗なしのオーディオケーブルを使用してください。 	17～19
画像が不鮮明	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。 ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。 ● スクリーンに対して過度に斜めに投射しているときは、画面に台形ひずみ（あおり）ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。 ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。 	27 12 13
映像が左右（上下）逆さまに映っている	<ul style="list-style-type: none"> ● 「リア投映」や「天吊り」機能が「オン」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。 	48
オンスクリーンメニューが出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。 	47
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池は正しく入っていますか。+-を正しく入れてください。 ● 電池がなくなっていないですか。新しい電池と交換してください。 ● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 ● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。 ● リモコンの [ALL OFF] スイッチが、[ALL OFF] 側になっていませんか。「ON」側にしておいてください。 ● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。 ● 「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「セッティング」を確認してください。 	15 15 15 15 20 21、49 49
コンピュータのワイヤレスマウスとして動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● マウスコントロールケーブルは正しく接続されていますか。 ● 接続するコンピュータにマウスドライバがインストールされていますか。ワイヤレスマウスとして使うにはコンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。 ● 一旦電源を切り、プロジェクターの電源を先に入れてから、コンピュータを立ち上げてみてください。 	18 51

コンピュータシステムモード一覧

コンピュータの信号がアナログの場合

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(カスタムモード 1~5 は含みません。) 接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640 x 480	31.47	59.88	XGA 10	1024 x 768	62.04	77.07
VGA 2	720 x 400	31.47	70.09	XGA 11	1024 x 768	61.00	75.70
VGA 3	640 x 400	31.47	70.09	XGA 12	1024 x 768	35.522	^{86.96} (インターレース)
VGA 4	640 x 480	37.86	74.38	XGA 13	1024 x 768	46.90	58.20
VGA 5	640 x 480	37.86	72.81	XGA 14	1024 x 768	47.00	58.30
VGA 6	640 x 480	37.50	75.00	XGA 15	1024 x 768	58.03	72.00
VGA 7	640 x 480	43.269	85.00	MAC 19	1024 x 768	60.24	75.08
MAC LC13	640 x 480	34.97	66.60	SXGA 1	1152 x 864	64.20	70.40
MAC 13	640 x 480	35.00	66.67	SXGA 2	1280 x 1024	62.50	58.60
480p	640 x 480	31.47	59.88	SXGA 3	1280 x 1024	63.90	60.00
575p	768 x 575	31.25	50.00	SXGA 4	1280 x 1024	63.34	59.98
575i	————	15.625	^{50.00} (インターレース)	SXGA 5	1280 x 1024	63.74	60.01
480i	————	15.734	^{60.00} (インターレース)	SXGA 6	1280 x 1024	71.69	67.19
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.25	SXGA 7	1280 x 1024	81.13	76.107
SVGA 2	800 x 600	37.88	60.32	SXGA 8	1280 x 1024	63.98	60.02
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.00	SXGA 9	1280 x 1024	79.976	75.025
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.06	SXGA 10	1280 x 960	60.00	60.00
SVGA 5	800 x 600	48.08	72.19	SXGA 11	1152 x 900	61.20	65.20
SVGA 6	800 x 600	37.90	61.03	SXGA 12	1152 x 900	71.40	75.60
SVGA 7	800 x 600	34.50	55.38	SXGA 13	1280 x 1024	50.00	^{86.00} (インターレース)
SVGA 8	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 14	1280 x 1024	50.00	^{94.00} (インターレース)
SVGA 9	800 x 600	38.60	60.31	SXGA 15	1280 x 1024	63.37	60.01
SVGA 10	800 x 600	32.70	51.09	SXGA 16	1280 x 1024	76.97	72.00
SVGA 11	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 17	1152 x 900	61.85	66.00
MAC 16	832 x 624	49.72	74.55	SXGA 18	1280 x 1024	46.43	^{86.70} (インターレース)
XGA 1	1024 x 768	48.36	60.00	SXGA 19	1280 x 1024	63.79	60.18
XGA 2	1024 x 768	68.677	84.997	SXGA 21	1400 x 1050	63.90	60.00
XGA 3	1024 x 768	60.023	75.03	MAC 21	1152 x 870	68.68	75.06
XGA 4	1024 x 768	56.476	70.07	MAC	1280 x 960	75.00	75.08
XGA 5	1024 x 768	60.31	74.92	MAC	1280 x 1024	80.00	75.08
XGA 6	1024 x 768	48.50	60.02	720p (HDTV)	————	45.00	60.00
XGA 7	1024 x 768	44.00	54.58	1035i (HDTV)	————	33.75	^{60.00} (インターレース)
XGA 8	1024 x 768	63.48	79.35	1080i (HDTV)	————	33.75	^{60.00} (インターレース)
XGA 9	1024 x 768	36.00	^{60.31} (インターレース)	1080i (HDTV)	————	28.125	^{50.00} (インターレース)

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

※ SXGA、Mac21、Mac、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) の信号を投射するときは、信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

※ ドットクロックが180MHz以上のコンピュータの信号には対応しておりません。

コンピュータの信号がデジタルの場合

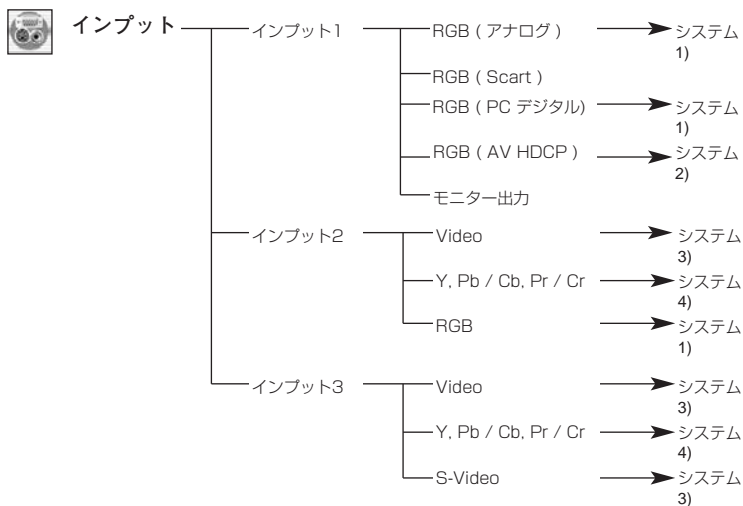
DVI 入力端子からデジタル信号を入力する場合、以下のシステムモードに対応しています。

システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
D-VGA	640 x 480	31.47	59.94	D-SXGA1	1280 x 1024	63.98	60.02
D-480p	720 x 480	31.47	59.88	D-SXGA2	1280 x 1024	60.276	58.069
D-575p	768 x 575	31.25	50.00	D-720p	1280 x 720	45.00	60.00
D-SVGA	800 x 600	37.879	60.32	D-1080i	1920 x 1080	33.75	60.00 (インターレース)
D-XGA	1024 x 768	43.363	60.00	D-1080i	1920 x 1080	28.125	50.00 (インターレース)

※ ご使用のコンピュータによっては、D-SXGAの画像は正しく映らない場合があります。

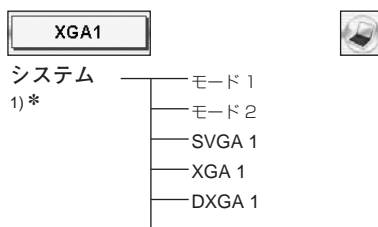
※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

メニュー内容一覧

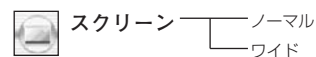
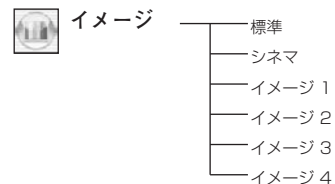
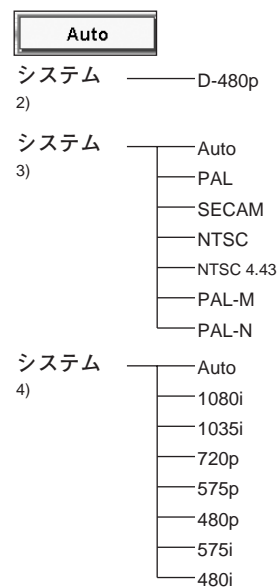
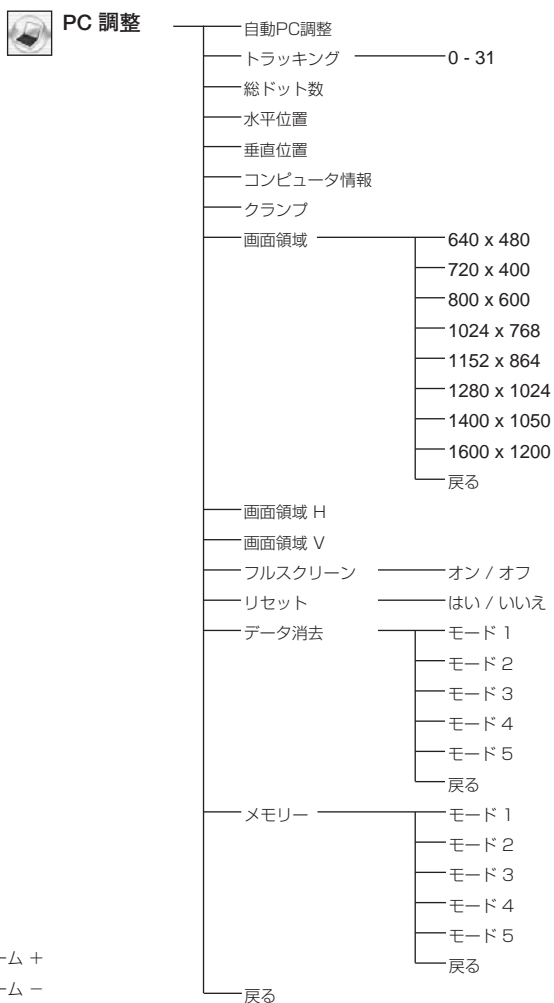
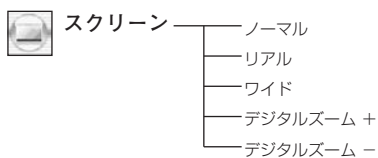
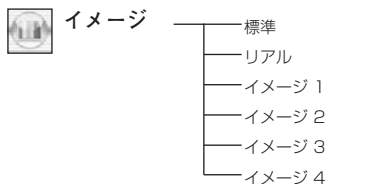


コンピュータ入力

ビデオ入力



* 表示される内容は入力された信号によって異なります。





セッティング

- 言語
 - 英語
 - ドイツ語
 - フランス語
 - イタリア語
 - スペイン語
 - ポルトガル語
 - オランダ語
 - スウェーデン語
 - ロシア語
 - 中国語
 - 韓国語
 - 日本語
 - 戻る
- ランプモード ——— ノーマル/オート/エコ
- キーストーン ——— メモリー/リセット
- アスペクト V ——— メモリー/リセット
 - スケール
 - ポジション
- アスペクト H ——— メモリー/リセット
 - スケール
 - ポジション
- アナモフィック ——— オン / オフ
- ブルーバック ——— オン / オフ
- オンスクリーン表示 ——— オン / オフ
- メニュー位置
- ロゴ ——— オン / オフ
- 天吊り ——— オン / オフ
- リア投映 ——— オン / オフ
- パワーマネージメント ——— オフ / 待機 / シャットダウン
- オンスタート ——— オン / オフ
- リモコンコード
 - コード 1
 - コード 2
 - コード 3
 - コード 4
 - コード 5
 - コード 6
 - コード 7
 - コード 8
 - 戻る
- USB
 - マウス
 - プロジェクター
- キーロック
 - オフ
 - 操作パネル
 - リモコン
- ランプカウンターリセット ——— はい / いいえ
- 初期設定 ——— はい / いいえ



イメージ調整

- コントラスト ——— 0 - 63
- 明るさ ——— 0 - 63
- 色の濃さ ——— 0 - 63
- 色合い ——— 0 - 63
- カラーマネージメント
 - 自動画質補正 ——— オフ / L1 / L2
 - 色温度 ——— 超低 / 低 / 中 / 高
 - 赤 ——— 0 - 63
 - 緑 ——— 0 - 63
 - 青 ——— 0 - 63
 - 画質 ——— 0 - 31
 - ガンマ補正 ——— 0 - 15
 - ノイズリダクション ——— オン / オフ
 - プログレッシブ ——— オフ / L1 / L2
 - リセット ——— はい / いいえ
 - メモリー
 - イメージ 1
 - イメージ 2
 - イメージ 3
 - イメージ 4
 - 戻る
- 戻る



サウンド

- 音量 ——— 0 - 63
- スピーカ ——— オン / オフ
- 消音 ——— オン / オフ
- 戻る

**メニュー内の調整値は、実際と異なる場合があります。

仕 様

プロジェクター本体

種 類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル 3枚 3原色光シャッター方式
液晶パネル	パネルサイズ：1.3型 表示方式：透過型TN液晶パネル 駆動方式：TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス方式 画素数：2,359,296 画素 { 786,432（横1024 × 縦768）×3 }
水平解像度	800 TV本 (HDTV)
投射レンズ	1.3倍ズームレンズ F=1.7 ~ 2.0 f=48.2 ~ 62.6mm
ランプ	高輝度 300W NSHランプ
ズーム/フォーカス調整	電動式
入出力 コンピュータ	DVI入力 (1系統)：DVI-D コネクター (24ピン) デジタル：TMDS (Transition Minimized Differential Signaling) アナログRGB入出力 (入力2系統・出力1系統)：ミニD-sub 15ピン、BNC x 5ピン アナログRGB信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期：TTLレベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性、インピーダンス75Ω)
ビ デ オ	ビデオ入力 (2系統) 映像/Y：BNC コネクター、ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω Pb：BNC コネクター、ピンジャック、0.7Vp-p、インピーダンス75Ω Pr：BNC コネクター、ピンジャック、0.7Vp-p、インピーダンス75Ω S映像：セパレートYC信号、ミニDIN 4ピン Y：1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C：0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス75Ω
音 声	音声入力 (2系統)：ミニジャック (ステレオ)、142mVrms、インピーダンス47KΩ以上 音声入力：ピンジャック、142mVrms、インピーダンス47KΩ以上 (左モノ：右) 音声モニター出力 (コンピュータ / ビデオ兼用)：ミニジャック (ステレオ)、可変出力、インピーダンス1KΩ以下
制御入出力、他	コントロールポート：ミニDIN 8ピン USB端子：USBコネクター、シリーズ B、シングルポート ワイヤード リモコン端子：ミニジャック PJ-Net Organizer コネクター
走査周波数	水平 15~100KHz、垂直 50~100Hz
カラーシステム	6システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
音声実用最大出力	ステレオ 2W + 2W (JEITA)
スピーカ	5 x 5 cm 円形 2個
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	450W (待機中消費電力 15W)
本体寸法	幅319×高さ168×奥行470 mm (突起部含まず)
質 量	9.2Kg

※ 高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

※ HDCPとは、High-bandwidth Digital Contents Protectionの略称で、DVIを経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護用システムのことです。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLCという団体によって、策定・管理されています。本機のDVI-D入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投射することができます。HDCPの規格変更等が行なわれた場合、これらHDCP技術でコピープロテクトされたデジタル映像のDVI-D端子での再生はできなくなる場合があります。

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99%以上です。放映中 0.01%以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

電 源	DC3.0V 単3形アルカリ乾電池 2本使用
到達距離	約 5m (受信部正面)
本体寸法	幅 50×高さ 36×奥行 193 mm
質 量	160g (乾電池を含む)
レーザーポインタレーザー出力 (IEC60825-1, Am.1 1997)	クラス2 レーザ製品 最大出力：1 mW 波 長：650±20 nm

付属品

• リモコン	1個
• リモコン用 アルカリ乾電池 (単3形)	2本
• リモコン接続コード	1本
• 電源コード	1本
• コンピュータ接続ケーブル (D-sub用)	1本
• USB ケーブル	1本
• マウス コントロール ケーブル (シリアル用)	1本
• 取扱説明書	
• レンズ交換・取付作業手順書	
• 保証書	
• レンズキャップ	1個
• ダストカバー	1枚

別売品

- DVI用コンピュータ接続ケーブル (2m) 品番：KA-DV20
- マウスコントロールケーブル (PS/2用) 品番：POA-MCPS2
- マウスコントロールケーブル (MAC用)..... 品番：POA-MCMAC
- 固定・短焦点レンズ 品番：LNS-W32
- 短焦点ズームレンズ 品番：LNS-W31A
- 長焦点ズームレンズ 品番：LNS-T31A
- 超長焦点ズームレンズ 品番：LNS-T32
- PJ-Net Organizer 品番：POA-PN02

●レンズ交換について●

本機はオプションレンズを使用することにより、レンズを交換して使用することができます。

レンズの取り付け・交換は、安全のため専門の販売技術員、または、サービス技術員にご相談ください。お客様自身での取り付け交換はしないでください。

●販売技術員・サービス技術員の方へ●

レンズの取り付け・交換は別冊のレンズ交換手順書にしたがい行ってください。レンズの取り付け・交換の前にレンズの品番を確認の上、正しいレンズをご使用ください。

※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。

※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。

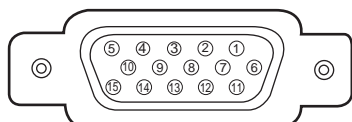
※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

端子の仕様

ANALOG IN / OUT (コンピュータ D-sub 入力端子 / モニター出力端子)

コンピュータからのアナログ (RGB) 入力の端子として、またモニター出力端子としてはたります。接続には、D-sub用コンピュータ接続ケーブル (付属) をご使用ください。

ミニ D-sub 15ピン

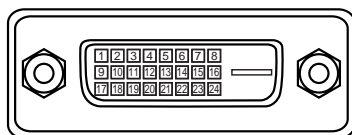


1	R	9	未接続
2	G	10	接地 (垂直同期)
3	B	11	モニター ID0
4	モニター ID2	12	未接続
5	接地 (水平同期)	13	水平同期
6	接地 (R)	14	垂直同期
7	接地 (G)	15	未接続
8	接地 (B)		

DIGITAL DVI-D TERMINAL (コンピュータ DVI-D 入力端子)

コンピュータからのデジタル (TMDS) 出力を接続する端子です。接続には、DVI用コンピュータ接続ケーブル (別売) をご使用ください。

DVI 24ピン

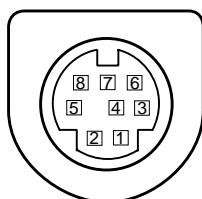


1	T.M.D.S. データ 2-	9	T.M.D.S. データ 1-	17	T.M.D.S. データ 0-
2	T.M.D.S. データ 2+	10	T.M.D.S. データ 1+	18	T.M.D.S. データ 0+
3	T.M.D.S. データ 2 シールド	11	T.M.D.S. データ 1 シールド	19	T.M.D.S. データ 0 シールド
4	未接続	12	未接続	20	未接続
5	未接続	13	未接続	21	未接続
6	DDC クロック	14	+5V パワー	22	T.M.D.S. クロック シールド
7	DDC データ	15	接地 (+5V)	23	T.M.D.S. クロック+
8	未接続	16	ホットプラグ検知	24	T.M.D.S. クロック-

CONTROL PORT (コントロール ポート 端子)

接続したコンピュータのマウス操作を本機のリモコンで行なうときに接続する端子です。この端子とコンピュータのマウスポート (PS/2ポート、シリアルポート、または マウスポート) を付属または別売のマウスコントロールケーブルで接続します。

ミニ DIN 8ピン

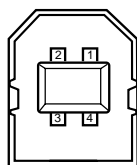


	マウス コントロール ケーブル の種類		
	PS/2 (別売)	シリアル (付属)	Mac (別売)
1	----	R X D	----
2	CLK	----	ADB
3	DATA	----	----
4	接地	接地	接地
5	----	RTS / CTS	----
6	----	T X D	----
7	接地	接地	----
8	----	接地	接地

USB (ユニバーサルシリアルバス端子)

USB規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。また、マウスコントロールポート端子としても使用します。

USB コネクター (シリーズ B)



1	VCC
2	- DATA
3	+ DATA
4	接地

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ...

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電製品についての全般的なご相談は <総合相談窓口> 三洋電機(株) お客さまセンター

受付時間：9：00～18：30

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| ◆北海道地区 札幌 ☎(011)290-1522 | ◆近畿・四国地区 大阪 ☎(06)6994-9570 |
| ◆東北地区 仙台 ☎(022)714-6137 | ◆中国地区 広島 ☎(082)297-6067 |
| ◆関東地区 東京 ☎(03)3815-1111 | ◆九州・沖縄地区 福岡 ☎(092)461-8022 |
| ◆中部・北陸地区 名古屋 ☎(052)533-5245 | |

※郵便・FAXでご相談される場合は

三洋電機(株) お客さまセンター 〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX (06) 6994-9510

☆上記のお客さまご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

修理サービスについてのご相談は <修理相談窓口> 三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間：月曜日～金曜日 [9：00～18：30]

土曜・日曜・祝日 [9：00～17：30]

出張修理のご依頼 その他の修理相談窓口

東コールセンター 東京 ☎(03)5302-3401

西コールセンター 大阪 ☎(06)4250-8400

関東・首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話をご利用いただけます。

東コールセンターへの転送電話番号

- | |
|--------------------------|
| ◆北海道地区 札幌 ☎(011)833-7888 |
| ◆東北地区 仙台 ☎(022)382-2213 |
| ◆長野地区 長野 ☎(0263)26-1772 |
| ◆新潟地区 新潟 ☎(025)285-2451 |
| ◆福島地区 福島 ☎(024)945-6811 |

西コールセンターへの転送電話番号

- | |
|--------------------------|
| ◆北陸地区 金沢 ☎(076)237-6650 |
| ◆東海地区 名古屋 ☎(052)979-3456 |
| ◆中国地区 広島 ☎(082)293-9333 |
| ◆四国地区 高松 ☎(087)844-8321 |
| ◆九州地区 福岡 ☎(092)922-9311 |

◆沖縄地区 沖縄 (098) 944-5018

受付時間：月曜日～土曜日(日曜、祝日および当社休日を除く) [9：00～12：00、13：00～17：30]

※「持ち込み修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。
受付時間：月曜日～土曜日(日曜、祝日を除く) 9：00～17：30

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ www.sanyo.co.jp をご覧ください。

北海道地区	関東地区	近畿地区
北海道 札幌 ☎ (011) 831-9201 〒003-0013 札幌市白石区中央三条4-1-36 函館 ☎ (0138) 48-8301 〒041-0824 函館市西栢根町589-295 苫小牧 ☎ (0144) 57-8707 〒059-1364 苫小牧市沼ノ端230-1034 旭川 ☎ (0166) 22-2421 〒070-0073 旭川市曙北3条7-3-3 北見 ☎ (0157) 23-4871 〒090-0037 北見市山下町4-7-14 釧路 ☎ (0154) 22-1576 〒085-0021 釧路市浪花町7-7	神奈川 戸塚 ☎ (045) 827-2831 〒224-0806 横浜市戸塚区上品濃9-14 相模原 ☎ (042) 742-2272 〒228-0805 相模原市豊町17-11 平塚 ☎ (0463) 55-3926 〒254-0014 平塚市四之宮3-20-63 千葉 千葉 ☎ (043) 241-7311 〒260-0025 千葉市中央区問屋町5-20 鎌ヶ谷 ☎ (047) 441-0111 〒273-0105 鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59 山梨 山梨 ☎ (055) 226-2561 〒400-0035 甲府市飯田4-8-23	阪神 ☎ (06) 6432-3401 〒661-0026 尼崎市水堂町4-17-6 姫路 ☎ (0792) 96-2141 〒670-0981 姫路市西庄字八町108 淡路 ☎ (0799) 22-2702 〒656-0101 洲本市納字横竹308-1
東北地区	中部地区	中国地区
宮城 仙台 ☎ (022) 384-0444 〒981-1225 名取市飯野坂3-4-8 青森 青森 ☎ (017) 729-3401 〒030-0141 青森市大字上野字山辺29-5 八戸 ☎ (0178) 28-9225 〒039-1103 八戸市長苗代字観音堂50-5 岩手 盛岡 ☎ (019) 635-0136 〒020-0863 盛岡市南仙北1-13-6 水沢 ☎ (0197) 23-6621 〒023-0003 水沢市佐倉河字羽黒田45 山形 山形 ☎ (023) 641-1769 〒990-2432 山形市荒橋町1-21-30 酒田 ☎ (0234) 23-3817 〒998-0842 酒田市亀ヶ崎6-7-16 秋田 秋田 ☎ (018) 862-6551 〒010-0925 秋田市旭南3-2-67 福島 郡山 ☎ (024) 945-6793 〒963-0111 郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7	愛知 名古屋 ☎ (052) 979-3455 〒461-0011 名古屋市東区白壁5-41 岡崎 ☎ (0564) 23-3418 〒444-0065 岡崎市柿田町1-2 岐阜 岐阜 ☎ (058) 246-3417 〒501-6006 岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35 静岡 静岡 ☎ (054) 261-4151 〒420-0813 静岡市長沼885 沼津 ☎ (055) 963-1000 〒410-0861 沼津市真砂町3-1 浜松 ☎ (053) 461-8685 〒435-0016 浜松市和田町795-2 長野 松本 ☎ (0263) 26-1107 〒390-0835 松本市高宮東1-35 長野 ☎ (026) 299-9501 〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2 石川 金沢 ☎ (076) 237-7811 〒920-0062 金沢市割出町627 富山 富山 ☎ (076) 422-7020 〒939-8211 富山市二口町1-13-8 福井 福井 ☎ (0776) 22-6082 〒918-8231 福井市問屋町1-17 三重 三重 ☎ (059) 228-8126 〒514-0838 津市岩田町10-3	広島 広島 ☎ (082) 293-6511 〒733-0012 広島市西区中広町3-17-5 福山 ☎ (084) 954-4101 〒721-0952 福山市曙町4-22-10 岡山 岡山 ☎ (086) 245-1634 〒700-0973 岡山市下中野703-101 津山 ☎ (0868) 22-6133 〒708-0002 津山市上河原239-10 鳥取 鳥取 ☎ (0857) 24-2930 〒680-0843 鳥取市南吉方3-107 島根 浜田 ☎ (0855) 22-7883 〒697-0023 浜田市長沢町3049 松江 ☎ (0852) 23-1183 〒690-0017 松江市西津田4-1-14 山口 山口 ☎ (083) 973-3391 〒754-0024 山口県吉敷郡小郡町若草町2-6
関東・甲信越地区	近畿地区	四国地区
埼玉 さいたま ☎ (048) 664-2319 〒331-0812 さいたま市北区宮原町1-30 坂戸 ☎ (049) 284-8900 〒350-0214 坂戸市千代田5-3-17 栃木 栃木 ☎ (028) 653-2811 〒321-0106 宇都宮市上横田町1302-12 茨城 茨城 ☎ (0298) 64-4751 〒300-3261 つくば市花畑2-15-3 水戸 ☎ (029) 251-4125 〒311-4152 水戸市河和田3-2386-1 群馬 群馬 ☎ (027) 362-1151 〒370-0001 高崎市中央町池の内441 西関東 ☎ (0276) 22-7702 〒373-0015 太田市東新町72-2 新潟 新潟 ☎ (025) 285-2431 〒950-0971 新潟市近江244 長岡 ☎ (0258) 24-0705 〒940-0029 長岡市東蔵王2-3-46 上越 ☎ (0255) 43-3535 〒942-0074 上越市石橋2-2-9 東京 城東 ☎ (03) 3607-3191 〒125-0051 葛飾区新宿4-10-15 城北 ☎ (03) 3958-1261 〒173-0021 板橋区弥生町72-5 城西 ☎ (03) 3376-3361 〒151-0073 渋谷区笹塚3-1-13 武蔵野 ☎ (042) 364-7721 〒183-0045 府中市美好町2-3-1	大阪府 大阪 ☎ (06) 6992-6235 〒570-0086 守口市竹町4-13 大阪南 ☎ (06) 6761-4600 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F 大阪東 ☎ (0729) 65-1811 〒578-0903 東大阪市今米2-3-29 阪和 ☎ (072) 221-8571 〒590-0959 堺市大町西3-1-16 京都府 京都 ☎ (075) 672-0877 〒601-8102 京都市南区上烏羽菅田町41 三丹 ☎ (0773) 27-3458 〒620-0856 福知山市土師宮町1-66 奈良 奈良 ☎ (0744) 22-7888 〒634-0837 橿原市曲川町7-1-31 滋賀 滋賀 ☎ (077) 545-4221 〒520-2134 大津市瀬田1-1-5 和歌山 和歌山 ☎ (073) 436-3110 〒641-0006 和歌山市中島369 田辺 ☎ (0739) 22-7520 〒646-0051 田辺市稲成町南江原318 兵庫 神戸 ☎ (078) 651-3951 〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通2-1-11	愛媛 愛媛 ☎ (089) 971-3342 〒791-8036 松山市高岡町148-1 宇和島 ☎ (0895) 27-1818 〒798-0077 宇和島市保田甲934-3 香川 香川 ☎ (087) 843-1840 〒761-0104 高松市高松町2175-10 高知 高知 ☎ (088) 860-0229 〒781-5106 高知市介良乙1044 徳島 徳島 ☎ (088) 699-4131 〒771-0219 徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓150-2
九州地区	近畿地区	九州地区
福岡 福岡 ☎ (092) 928-3414 〒818-8534 筑紫野市紫6-1-1 北九州 ☎ (093) 521-5286 〒802-0023 北九州市小倉北区下富野2-10-28 中九州 ☎ (0942) 21-3534 〒830-0052 久留米市上津町字赤坂1890-2 長崎 長崎 ☎ (095) 824-5628 〒850-0012 長崎市本河内3-21-43 佐世保 ☎ (0956) 31-7635 〒857-1162 佐世保市卸本町17-1 熊本 熊本 ☎ (096) 357-1122 〒861-4106 熊本市南高江町3-2-88 八代 ☎ (0965) 35-3483 〒866-0871 八代市田中東町12-7 大分 大分 ☎ (097) 543-3454 〒870-0822 大分市大道町3-4-32 宮崎 宮崎 ☎ (0985) 29-3441 〒880-0036 宮崎市花ヶ島町観音免883 鹿児島 鹿児島 ☎ (099) 251-4615 〒890-0068 鹿児島市東都元町11-10	近畿地区 大阪府 大阪 ☎ (06) 6992-6235 〒570-0086 守口市竹町4-13 大阪南 ☎ (06) 6761-4600 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F 大阪東 ☎ (0729) 65-1811 〒578-0903 東大阪市今米2-3-29 阪和 ☎ (072) 221-8571 〒590-0959 堺市大町西3-1-16 京都府 京都 ☎ (075) 672-0877 〒601-8102 京都市南区上烏羽菅田町41 三丹 ☎ (0773) 27-3458 〒620-0856 福知山市土師宮町1-66 奈良 奈良 ☎ (0744) 22-7888 〒634-0837 橿原市曲川町7-1-31 滋賀 滋賀 ☎ (077) 545-4221 〒520-2134 大津市瀬田1-1-5 和歌山 和歌山 ☎ (073) 436-3110 〒641-0006 和歌山市中島369 田辺 ☎ (0739) 22-7520 〒646-0051 田辺市稲成町南江原318 兵庫 神戸 ☎ (078) 651-3951 〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通2-1-11	九州地区 福岡 福岡 ☎ (092) 928-3414 〒818-8534 筑紫野市紫6-1-1 北九州 ☎ (093) 521-5286 〒802-0023 北九州市小倉北区下富野2-10-28 中九州 ☎ (0942) 21-3534 〒830-0052 久留米市上津町字赤坂1890-2 長崎 長崎 ☎ (095) 824-5628 〒850-0012 長崎市本河内3-21-43 佐世保 ☎ (0956) 31-7635 〒857-1162 佐世保市卸本町17-1 熊本 熊本 ☎ (096) 357-1122 〒861-4106 熊本市南高江町3-2-88 八代 ☎ (0965) 35-3483 〒866-0871 八代市田中東町12-7 大分 大分 ☎ (097) 543-3454 〒870-0822 大分市大道町3-4-32 宮崎 宮崎 ☎ (0985) 29-3441 〒880-0036 宮崎市花ヶ島町観音免883 鹿児島 鹿児島 ☎ (099) 251-4615 〒890-0068 鹿児島市東都元町11-10
沖縄地区	近畿地区	沖縄地区
沖縄 沖縄 ☎ (098) 944-5018 〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)サービス部	近畿地区 大阪府 大阪 ☎ (06) 6992-6235 〒570-0086 守口市竹町4-13 大阪南 ☎ (06) 6761-4600 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F 大阪東 ☎ (0729) 65-1811 〒578-0903 東大阪市今米2-3-29 阪和 ☎ (072) 221-8571 〒590-0959 堺市大町西3-1-16 京都府 京都 ☎ (075) 672-0877 〒601-8102 京都市南区上烏羽菅田町41 三丹 ☎ (0773) 27-3458 〒620-0856 福知山市土師宮町1-66 奈良 奈良 ☎ (0744) 22-7888 〒634-0837 橿原市曲川町7-1-31 滋賀 滋賀 ☎ (077) 545-4221 〒520-2134 大津市瀬田1-1-5 和歌山 和歌山 ☎ (073) 436-3110 〒641-0006 和歌山市中島369 田辺 ☎ (0739) 22-7520 〒646-0051 田辺市稲成町南江原318 兵庫 神戸 ☎ (078) 651-3951 〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通2-1-11	沖縄地区 沖縄 沖縄 ☎ (098) 944-5018 〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)サービス部

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

(011105)

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。
(ただし、ランプは6ヶ月です)

■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

■保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときに



ご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご購入やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検	●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！	<small>熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。</small>
	 <p>このような症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none">● 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。● 映像が時々消えることがある。● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。● 内部に水や異物が入った。● その他異常や故障がある。	 <p>ご使用中止</p> <p>故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。</p>

お客さまメモ	
品番	LP-XP56
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さま ご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

AVカンパニー
プロジェクタービジネスユニット
事業企画部 国内販売課
〒574 - 8534 大阪府大東市三洋町1 - 1